

## 【史料目録】

# 旧国鉄（JR）名寄本線，旧国鉄湧網線沿線自治体所蔵廃線・バス転換関係資料目録 — 1980年前後から1990年前後まで —

白鳥圭志編

## 第1章 解題

第2章 旧国鉄（JR）名寄本線沿線自治体発行『広報』関連資料目録

第3章 旧国鉄（JR）名寄本線沿線自治体所蔵関連行政文書目録（湧別町役場所蔵分は除く）

第4章 旧国鉄湧網線沿線自治体発行『広報』関連資料目録

第5章 旧国鉄湧網線沿線自治体所蔵関連行政文書目録（湧別町役場所蔵分は除く）

第6章 湧別町役場所蔵旧国鉄湧網線，名寄本線関連行政文書目録

## 第1章 解題

### （1）研究状況と所在確認調査・目録化の意義

本目録は、北海道オホーツク海沿岸部の鉄道路線であった、旧国鉄（JR以下、省略）名寄本線（第二次路線、1989年5月1日廃止・バス転換）<sup>1)</sup>、旧国鉄湧網線（第一次路線、1987年3月20日廃止・バス転換）の沿線自治体、もしくは図書館所蔵の路線廃止・バス転換関係の行政文書、『広報』関連記事の所在確認目録である。本目録に掲載されている史料を用いて、筆者も研究を行う予定であるが、本問題については史料の所蔵確認すらできていないのが現状であるという<sup>2)</sup>。それゆえ、後続の研究者への便宜も考えて<sup>3)</sup>、史料目録として公表することにした。このことが可能になったのは、旧国鉄名寄本線、同湧網線の沿線自治体の市役所、役場、公民館、図書館の皆様方の格別なご配慮があつてのことである。まずは、御協力いただいた皆様方に記して深甚なる謝意を表したい。関連して、下川町の行政文書については、情報公開関連法規・条例との関係で、筆者が直接に史料を見た上で入力作業をすることができず、代わりに当方が提示したフォーマットを用いて下川町教育委員会に目録作成をしていただいた。同様に、旧常呂町（現北見市常呂）の行政文書は同様に自治体側に入力いただいた上で、筆者が内容確認を行わせていただいた。なお、本目録に記載された行政文書については、各自治体に情報開示請求をして、審査を受けた上で利用許可を得る必要がある。それゆえ、すべての目録記載の文書が必ず閲覧・収集・利用可能なわけではない。これらのことを付記する。

ところで、1980年代に入ると、80年5月の国鉄再建法案成立を受けて、国鉄改革が急激に進め

- 1) 名寄本線については、重要な資料として、北海道民友新聞編『名寄本線』、同社、1989年がある。
- 2) この点については、中村尚史氏にご教示いただいた。
- 3) この点に関する先行研究として、一例であるが拜司静夫・牧村四郎編『日本金融機関史文献目録』、増補改訂版、全国地方銀行協会、1984年のみを挙げておく。

られ、88年の分割民営化により、一応の決着がつけられたことは、周知のとおりである<sup>4)</sup>。この国鉄改革の渦中で、周知のとおり、1983年3月の北海道白糠線廃止・バス転換を皮切りに、経営効率化の観点から3次（営業キロ30km以下、旅客輸送密度〔1977～79年度の1日1kmあたりの平均輸送人員〕2,000人未満の第一次線40線、同50km以下、300人未満第二次線31線、4000人未満の第三次線75線）にわたり赤字ローカル線の廃止が進められた。先行研究では、政府の政策に着目した政策史的な研究<sup>5)</sup>、第2次史料を用いた全国規模での研究が行われてきた<sup>6)</sup>。これらの研究では在地の史料を用いた研究は、国鉄改革から日が浅かったということもあり、史料上の制約から行われなかった。例外は、『鉄道ジャーナル』誌が行った現地ルポであろう<sup>7)</sup>。同誌のルポは、国鉄特定地方交通線（赤字ローカル線）が、通学生の交通費負担や高齢者の通院費負担の軽減という役割を果たしているに過ぎないという、一種の社会政策的役割に止まっている点を指摘している点で非常に興味深い<sup>8)</sup>。ただし、現状分析の域に止まっており、歴史分析には程遠い。

しかし、最近になって、恩田陸・小緑一平両氏が旧国鉄明知線を対象にして<sup>9)</sup>、沿線自治体の『広報』を用いた地域社会論的視点からの歴史研究が行われるようになった。在地史料から問題に迫った点で、恩田・小緑両氏の研究は画期的である。もっとも、地域社会論的研究という点は上記の『鉄道ジャーナル』誌の現地ルポも取り入れており、議論や研究視角のオリジナリティという点では疑問がある。また、今後の研究で明らかにする予定であるが、国鉄赤字ローカル線の廃止・バス転換には複数の沿線自治体の利害のほか、道府県庁、政府レベルで重層的に利害調整が行われてきた。このような利害調整に基づき、転換交付金という財政補助金が沿線自治体に交付された。この意味で、国鉄赤字ローカル線の廃止・バス転換は、政府間の財政調整の側面も帯びていた。さらに「官製運動」的要素もかなり強かった。恩田・小緑両氏の研究も含む先行研究では、もっぱら史料上の制約を理由に、これらの点に踏み込むことができなかった。今回、公表する目

- 
- 4) その概観として、種村直樹「特定地方交通線廃止10年の経緯」、『鉄道ジャーナル』1989年10月号、108～115頁を参照。以下、第一次線、第二次線、第三次線の数や定義も同論文による。
  - 5) とりあえず、代表的見解として、中西健一「衰退期の国鉄」、財団法人運輸経済研究センター編『鉄道政策論の展開—創業からJRまで—』、白桃書房、1988年；岡野行秀・杉山雅洋『日本の交通政策』、成文堂、2015年、第3章；原田勝正『日本の国鉄』、岩波新書、1984年、第7章；政治過程についての検討として草野厚『国鉄改革』、岩波書店、1989年のみを挙げておく。
  - 6) 土居靖範「国鉄赤字ローカル線廃止の現局面と問題点（I～VI）」、『立命館経済学』第23巻4～6号、第24巻第2・5・6号、1985年11月～1986年3月。
  - 7) 同誌では全国規模で特定地方交通線の現地ルポを行っている。とりあえず、名寄本線・湧網線については、同誌1984年7月号、119～128頁。名寄本線は、同誌87年9月号、90～92頁も参照。バス転換後の名寄本線については同誌1989年10月号、104～107頁。これのみを挙げておく。当時の利用状況等もこれらのルポを参照。
  - 8) 青木栄一氏は、『鉄道ジャーナル』誌のルポに参加して、そこでの成果を踏まえてこのような議論を展開している。青木氏の多数の論考の中から、とりあえず青木「地域社会の中でローカル線を考える」、『鉄道ジャーナル』1987年1月号、101～105頁。関連する青木氏の業績は同105頁の「〔参考文献〕」を参照。このほか、青木ほか「この眼で見た赤字ローカル線の生態」、『鉄道ジャーナル』1981年9月号、72～75頁も参照。
  - 9) 恩田・小緑「国鉄明知線の第3セクター転換」、篠崎尚夫編『鉄道と地域の社会経済史』、日本経済評論社、2013年、3～51頁。なお、同論文では、『鉄道ジャーナル』1981年9月号に掲載された同線のルポ（66～71頁）への言及がない。

録に掲載されている史料群は，このような研究史上の限界を克服することを可能にすると思われる。これらの史料群の所在状況を明確化した点に，本目録の意義がある<sup>10)</sup>。

なお，本目録の編集にあたり，湧別町役場所蔵の行政文書は，章を別立てさせていただいた。その理由は，同文書は，名寄本線関係と湧網線関係が同じ薄冊に綴じこまれており，名寄本線分と湧網線分に分けることが困難であった点にある。その意味で，使いにくいものになってしまったことは否めない。事情をご賢察いただいた上で，利用者にはご容赦をお願いしたい。

## (2) 史料概要

本目録の作成にあたり，各自治体の協力を得た。個人情報保護法など情報公開関連法規に従い，各自治体の意向を踏まえた目録作成だった関係で，旧名寄本線沿線の下川町，旧湧網線沿線の旧常呂町の行政文書の目録化は，残念ながら筆者が直接行うことはできず，両市町の担当者が行った（前述）。紋別市については，目録の注を参照されたい。このほか，名寄市，西興部村，興部町については行政資料が散逸（名寄市），又は廃棄されていた（西興部村，興部町）。そのため，残念ながら，目録を作成することはできなかった。

本目録では，旧沿線自治体の行政文書のほか，恩田・小緑両氏の研究で『広報』が史料として用いられていることに学び，沿線自治体の『広報』の記事目録を作成した。これはすべての旧沿線自治体について行うことができた。時期的には，原則として，対象期間は，1980年前後から各路線がバス転換されるまでとした。そこで，『広報』も含めて行政文書の概要と今後の課題を示す。まず，沿線自治体の廃線反対の姿勢が様でないことが窺われる。例えば，名寄本線について見ると，紋別市が関連記事の件数といい，内容といい他の沿線自治体に比べて路線確保に積極的に動いているのに対して，名寄市にはそのような動きは見られない。当時の金田武紋別市長は通称「国鉄市長」と言われるほど，交通手段としての名寄本線存続に熱心だったという。それゆえ，人的要因が重要だったと思われる（同市役所小番宗幸氏の教示による）。これに対して，『広報なよろ』の目録の番号3の史料に見られるように，名寄市は交通手段としての名寄本線確保というよりは，同線廃線に伴う国鉄要員の減少が，住民減少＝需要減少を通じて，地域経済に悪影響を与えるという観点から反対している。

同じことは湧網線についても言える。『広報あばしり』は件数自体が少ない。また，調査の際に伺った話によれば（2015年7月21日実施），市役所が所蔵している行政資料の多くは，当時，湧網線廃止反対運動の幹事を務めていた佐呂間町からもらったもので，網走市が独自に作成したものは少ないという。当時，網走市が反対運動に参加した理由は，市内に居住する通学生の交通手段確保が目的という消極的なものであったという。これに対して，佐呂間町や旧常呂町では，路線確保に積極的な運動姿勢を示している。このように沿線自治体の思惑は様ではない。特に調

10) このほか，関連研究して，計量的手法で地方赤字ローカル線への補助金交付の必要性を論じた松上昇・平尾元彦「赤字ローカル線への補助金政策の社会的意義について」、『交通学研究 1986年研究年報』，49～177頁がある。

査過程で拝聞したところによれば（上記の網走市役所など）、道内では道都＝札幌と直接繋がる路線を持っていることが重要であるという。実証的検討が必要であるが、網走市や名寄市が国鉄路線廃止反対に必ずしも強行的ではなかったのは、このような事情があったからかもしれない。逆に、札幌と直接繋がる路線を失うことを恐れて、紋別市が強力な廃止反対運動をとったのかもしれない。関連して、紋別市について言えば、札幌圏に直結しない渚滑線の廃線・バス転換については殆ど運動らしい運動をしていない（同市の『広報』目録を参照）。いずれにせよ、廃線・バス転換に関する沿線自治体間での利害の違いをどのように調整したのか。幸い行政文書の中には沿線各市町村が参加した廃線対策協議会や第三セクター化した場合の経営試算、財政補助金の分配関係についての史料が残存している。これらを解説することにより、どのように利害調整が図られたのかが実証的に明確化されることが期待される。

湧網線に関しては、稚内から釧路に至る「オホーツク本線」の一環になることで路線維持をはかろうという動きが見られる。このため、興浜南北線の路線廃止・バス転換の動向が、湧網線の廃止反対運動に影響を与えていることが分かる。このことは『鉄道ジャーナル』誌でもごく簡単な言及がある<sup>11)</sup>。しかし、「オホーツク本線」構想が利害調整のプロセスや廃線反対運動にどのような影響を与えたのかは明確ではない。従来の研究では、他路線と関係づけることなく、個別路線に対象を絞って検討がされていた。この事実は、関連する他の廃止対象路線の動向をも踏まえた利害調整の分析が必要であることを示唆している。さらに言えば、名寄本線、天北線、標津線、池北線のいわゆる「長大四路線」は廃線を巡り似たような状況にあるところから、相互に協力して道や国に廃止反対を働きかけている（『広報さろま』目録番号48史料など）。この意味でも、廃止反対運動は複数の対象路線の間で広域的に組織されていた。このような運動の内容についての検討も必要である。本目録に掲載されている行政文書史料の中にはこのことを可能にするものも含まれている。

以上を踏まえて、北海道庁所蔵史料も含めて検討して（ただし、現時点では宗谷支庁分以外非公開）、在地レベルで国鉄赤字ローカル線廃止・バス転換を巡り、どのような駆け引きが行われた上で、バス転換へと向っていったのか、その結果、代行バス転換後、利用者や自治体に、どの程度、負担が転嫁されたのか、といった点を検討することが望まれる。これについても、例えば、旧常呂町、佐呂間町、紋別市などの行政文書の中に史料が残されている。今後の研究の進展が期待される。

### (3) おわりに

1980年代から90年代初頭にかけての旧国鉄赤字ローカル線の廃止・バス転換に伴う地方交通体系の再編成についての経済史的研究は、これから開拓されるべき領域である。特に、今回の所在確認調査を通じて、旧国鉄赤字ローカル線の代替バス運行自体が曲がり角に来ていることを

11) 同誌1984年5月号、126頁。

知り<sup>12)</sup>，現在が地方交通体系再編成の第二の大きな転換点になりうることを実感した。もっとも，本目録はわずか二路線のみのものにすぎない。それでも，研究進展の一助になり，今後の地方交通体系の第二の再編成を考える上で参考になる歴史的経験を提示できれば望外の喜びである。なお，本分野は北海道のみならず，全国各地で史料の発掘が望まれるテーマでもある。本問題に関心を持つ研究者はもとより，鉄道史を中心とする地方史，あるいは鉄道そのものに関心を持つ多くの方々が，各地で史料発掘や目録化を進め，赤字ローカル線関係を中心に国鉄改革についての研究が掘り下げられる条件整備が進むことを希望する旨を記して擧筆させていただく。

- ※1 北見市常呂総合支所の史料保全にあたり，同総合支所中村正成氏のほか，中村尚史先生（東京大学）のご配慮を得ることができた。記して深甚なる謝意を表したい。本目録は，平成27～29年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）による研究成果の一部である。
- ※2 校了直前に，当方の不手際から，行政文書の目録中に時系列的に並べられていない箇所があることに気がついた。この点の修正については，できるだけ早い時期に機会を見つけて行いたい。

---

12) 佐呂間町総務課玉井久也氏からの教示（2015年7月23日）によれば，旧湧網線全線を通した代替バス運行は，利用者の急減を背景に運行を中止したという。その上で，代行バスの大幅減便を求める住民の声を踏まえて佐呂間－網走間のバスを週1往復にまで減便したという。ほぼ同様の事態は，近日，史料目録を公刊予定の旧国鉄天北線代替バスについても生じており，現在，今後の運行形態などを検討中であるという（天北線地域公共交通会議『天北地域生活交通ネットワーク維持計画策定調査業務報告書』，2015年3月，浜頓別町役場提供；猿払村『天北宗谷岬バス路線の再編について』，刊行年次不明，猿払村役場提供による）。さらに，鉄道を見ても赤字路線が廃止の危機にあるという小関秀彦監修『赤字ローカル線は今？乗って残したい…』，inforest mook 2011年が詳しい。代替バスも含めた概説として，堀内重人『鉄道・路線廃止と代替バス』，東京堂出版，2010年も参照。

## 第2章 旧国鉄（JR）名寄本線沿線自治体『広報』関連記事

### 遠軽町立図書館所蔵『広報えんがる』

番号	記事名	収録号	頁
1	ローカル線廃止に反対しています	1980年11月	6
2	みなさんの足が奪われようとしています！＝国鉄地方交通線の廃止をやめさせ、私たちの生活を守りましょう	1980年12月	2
3	みんなの力で名寄本線・湧網線を守り抜こう	1983年9月	5
4	国鉄名寄本線・湧網線の存続を訴えるはがきを出しましょう	1983年1月	3
5	町民の信頼と期待にこたえて（遠軽町議会議長篠原照雄年頭の辞）	1984年1月	2
6	町民の幸せと豊かな社会づくりを目標に（遠軽町議会議長篠原照雄年頭の辞）	1985年1月	3
7	列車に乗って流氷アイランド共和国に行きませんか	1985年2月	12
8	名寄本線利用者に補助金が出ます	1987年4月	9
9	北の理想郷遠軽をめざして（遠軽町議会議長篠原照雄年頭の辞）	1989年1月	3
10	消える名寄本線写真二人展	1989年2月	6
11	表紙	1989年2月	表紙
12	惜別の名寄本線（その1）	1989年2月	8
13	惜別の名寄本線（その2）	1989年3月	8
14	名寄線ご利用のお客様へ	1989年4月	5
15	さよなら「名寄本線」	1989年5月	2
16	名寄本線とえんがるのあゆみ	1989年6月	5

### 上湧別町（湧別町ふるさと館所蔵）『広報かみゆうべつ』

番号	記事名	掲載号	頁
1	名寄本線湧網線の合理化反対運動 役員8名が旭鉄へ	1981年10月	9
2	名寄本線湧網線の廃止に歯止めをしよう	1981年12月	2～3
3	交通機関の確保	1981年2月	6
4	切符は町内で買しましょう	1982年5月	16
5	名寄本線湧網線廃止反対住民会議設立	1983年1月	5
6	表紙	1983年2月	表紙

内容摘記	備考
名寄本線廃止反対への町の取組（国鉄問題調査特別委員会の設置など）の説明。	
道内での廃線対象路線数と名寄本線・湧網線廃止の場合の料金値上げ。	
廃線反対の呼びかけ。	
廃線反対運動の一環としての関係大臣宛はがき送付の訴え。	
84年は名寄本線・湧網線の第二次廃止選定など「昨年以上に厳しい多事多難な年になる」との記載あり。	
「本町の発展に大きな問題を投げかけている国鉄ローカル線対策」との記述あり。	
町からの助成金のある乗車運動。50名募集。	
名寄本線乗車運賃補助の概要説明。	
「名寄本線廃止が決定され、父祖が営々と築いてきた大きな遺産が失われることに断腸の思いであります」との記述あり。	
郷土館での名寄本線関係写真展の案内。	
名寄本線ディーゼルカーの写真。	
道内鉄道史の概観。	遠軽町調査委員吉川文雄著
名寄本線敷設の経緯概要。	遠軽町調査委員吉川文雄著
代替バスの運行概要。鉄道との定期運賃差額補助。	
小林町長による名寄本線廃線受入れの経緯説明。沿革概要。	
郷土館での名寄本線関係特別展示の案内。	

内容摘記	備考
名寄本線・湧網線を守る住民会議代表者による旭川鉄道管理局に対する合理化反対。急行天都存続、急行大雪1・8号の存続、同4・5号の旭川終点化への反対の申入れ。	
交通手段確保、路線廃止による国鉄職員関係を中心とする人口流失阻止、両線確保のための陳情、町労働組合の決起集会概況。	
町の方針としての名寄・湧網両線廃止反対運動の継続。	
遠軽駅での購入は石北線の収入と見做される旨の説明と町内での購入促進の呼び掛け。	
廃止反対運動の内容として、①内閣総理大臣宛のハガキ送付による反対運動、②小中高生による作文を使った訴え、③1月9日に総決起集会を実施することを決議。	
1月9日実施の決起集会の写真。	

番号	記事名	掲載号	頁
7	守れ、名寄本線・湧網線	1983年2月	2～3
8	名寄本線・湧網線廃止反対の願い込め 作文九百六十二点届く	1983年3月	5
9	ローカル線を廃止しないで 名寄本線湧網線廃止反対作文	1983年5月	2
10	乗って残そうローカル線 廃止反対に演習十市町村の住民総決起大会開かれる 一、三〇〇名大集合	1983年6月	2
11	ローカル線の灯を消すな 列車内で廃止反対大会 湧網線沿線住民180人参加	1983年7月	6
12	名寄本線確保！—上京団銀座で活躍—	1983年10月	7
13	わたしたちの“貴重な足”を守ろう！みんなの力で乗って残そう生命線	1984年5月	2～3
14	5月の町長の主な動静	1984年6月	5
15	吹雪の中、名寄本線利用促進ツアー団出発！！	1985年3月	9
16	湧網線が廃止になります	1987年2月	14
17	さようなら湧網線 五一年の歴史に幕	1987年3月	6
18	三月二十日から代替バスを運行	1987年3月	7
19	湧網線 列車からバスへ	1987年4月	12
20	生活防衛のための過疎防止と人口増加対策	1988年4月	6
21	表紙	1988年12月	表紙
22	存続の願いむなしく消え去るふるさとの足 名寄線	1988年12月	8
23	表紙から	1988年12月	18
24	新年のご挨拶（町議会議長 村上清司）	1989年1月	3
25	五月一日から名寄線代替バスがスタート	1989年3月	6
26	生活防衛のための過疎防止と人口増加対策	1989年4月	6
27	さようなら わたしたちの名寄本線	1989年6月	2～3

紋別市立図書館所蔵『広報もんべつ』

番号	記事名	掲載号	頁
1	国鉄渚滑線存続のためみんなで渚滑線を利用いたしましょう	1981年8月	16
2	国鉄を利用しましょう	1981年9月	8
3	オホーツク圏の中核都市建設に最善の努力を	1982年1月	2
4	地域の発展に欠かせない交通機関	1982年1月	14～17
5	国鉄渚滑線廃止問題で地方協議会へ参加	1982年11月	6



内容摘記	備考
1月9日開催の名寄本線・湧網線廃止反対上湧別町民総決起集会の概況。廃止された場合の状況変化，廃止阻止のための法令改正の必要性，地元協議会への参加引延し，列車利用率の向上の必要性の訴へ。列車，バス，ハイヤーの運賃比較表あり。	
通学生からの交通不便，鉄道関係人口流失による地域経済への悪影響を理由とする廃線反対の訴え。	
運賃値上げなどを理由とする廃線反対の訴え。	
住民総決起集会の概況。小学生による地域経済への悪影響の訴え。	
6月16日実施の湧網線廃止反対大会の概況。	
銀座での廃止反対アピールの概況。	
名寄線，湧網線廃線反対の呼び掛け。	
名寄，湧網線関係の行動についての記載あり。	
2月24日実施の名寄本線利用ツアーの概況。	
湧網線廃止についての告知。	
湧網線の歩みと路線図。	
代替バス運行の内容。	
湧網線廃止当日と代替バス出発式の概況。	
湧網線廃止と鉄道員配置換えによる過疎化の進展についての言及あり。	
名寄本線の列車の写真。	
第三セクター化断念，バス転換への経緯説明。	
北湧乗降場に停車中の列車と通学生の写真であることの説明。	
名寄線廃止とバス転換への言及あり。	
転換バスの運転業者，運賃，経路，便数，停留所などの概説。	
名寄本線廃止への言及あり。	
名寄本線最終日の写真と若干の説明。	

内容摘記	備考
国鉄利用促進の呼びかけ。	
国鉄利用促進の呼びかけ。	
金田武市長の年頭の辞。国鉄問題への言及あり。	
公共輸送機関の在り方に関する市民アンケートの結果。国鉄問題への言及あり。	
紋別市の特定地方交通線対策協議会への参加。バス転換を希望する旨の表明。	

番号	記事名	掲載号	頁
6	私たちの名寄本線を絶対守ろう!!	1983年3月	4
7	表紙(名寄本線を絶対確保しよう)	1983年6月	表紙
8	“名寄本線確保”の声強く	1983年6月	4
9	具体的な運動方法	備考	備考
10	市民の皆さん 国鉄名寄本線存続のために再びハガキによる要請を!!	1983年12月	6～7
11	市民の皆さん 国鉄名寄本線存続が決まりました 紋別市長金田武	1984年7月	備考
12	地域の特性を生かし独創性に富んだ知恵を	1985年1月	1～2
13	新年のご挨拶	1985年1月	備考
14	“さようなら渚滑線”住民の足は今、生まれかわります	1985年4月	備考
15	国鉄名寄本線絶対確保 市民の皆さん存続大詰めを迎えハガキによる最後の訴えを!!	1985年6月	備考
16	レールは気の抜けない生き物	1985年9月	2
17	活力のある都市建設へ(紋別市議会議長野村秀男)	1987年1月	2
18	市民の努力で残そう名寄本線 名寄本線利用促進運賃補助制度のご案内 紋別市名寄本線絶対確保紋別市民協議会	1987年4月	備考
19	流氷研究国際都市として(金田武市長年頭の辞)	1988年1月	2
20	広報グラフ	1988年10月	12
21	新しい紋別の創造を目指して(金田武市長年頭の辞)	1989年1月	2
22	試練を繁栄の糧として(野村秀男市議会議長年頭の辞)	1989年1月	3
23	さよなら名寄本線 5月1日から快適なバス運行に	1989年3月	4
24	名寄本線代替バス出発式の写真	1989年6月	10

興部町図書館所蔵『広報おこっぺ』

番号	記事名	掲載号	頁
1	大切な住民の足 名寄本線・興浜南線を守ろう!	1981年7月	8
2	みんなで守ろう!! 名寄本線・興浜南線	1982年8月	11
3	表紙	1983年1月	表紙
4	新年のことば(町議会議長宮田俊彦)	1983年1月	2
5	名寄本線廃止絶対反対	1983年3月	2
6	表紙	1984年1月	表紙

内容摘記	備考
存続運動の経過概要報告。名寄本線の積極的利用，存続訴えの「ハガキ運動」継続の呼びかけ。	
名寄本線反対運動の写真。	
5月13日開催の「国鉄名寄本線外地方交通線絶対確保住民総決起大会」の経過報告。	
ハガキによる存続運動など7項目の名寄本線存続運動の方法説明。	1983年12月号に合綴の付録文書。4頁分。題目なし。黄色の頁。
ハガキ運動継続の要請文。	
緑の紙。	頁数無し。
金田武市長・野村秀男議会議長の年頭の辞。国鉄問題への言及あり。	
国鉄名寄本線絶対確保紋別市民協議会会長，紋別商工会会長天野一郎名。	頁数無し。緑の紙。裏面に役員一覧。
金田市長の「渚滑線バス転換にあたって」の一文あり。	頁数無し。黄色の紙一枚。
国鉄名寄本線絶対確保紋別市民協議会会長天野一郎名の呼びかけ。ハガキ記載方法の例示。	黄色の紙。4頁分。
名寄，渚滑両線の保線事情。	国鉄渚滑保線区渚滑保線副管理長盛一正樹氏執筆。
廃止保留状況の名寄本線について言及。	
補助金交付方法の説明，交付書類書式あり。	頁数無し，4頁分，黄色の紙。
JR名寄本線存続に一層努力するとの言及あり。	
9月10日運転の「ミステリー列車」紋別駅着の写真あり。	
名寄本線存続断念の記述有り。	
JR名寄本線跡地活用の記述あり。	
代替バスの運行状況概要。	
写真のみ。	

内容摘記	備考
国鉄利用促進の呼び掛け。	
国鉄利用促進の呼び掛け。	
「ことしも，町民一丸となって名寄本線・興浜南線を守ろう！」のスローガン，列車の写真あり。	
国鉄赤字ローカル線廃止への批判。	
「国鉄名寄本線廃止絶対反対興部町民大会」の概要。決議文。	
「この駅・この線路をなくすな 名寄本線・興浜南線絶対確保！」の記載，列車の写真あり。	

番号	記事名	掲載号	頁
7	新年のことば（町議会議長品田辰雄）	1984年1月	2
8	昭和59年度、町政執行方針 明るく豊かな町づくりを！	1984年4月	2～3
9	心のかよいあう町政を！—町政懇談会—	1984年5月	2～3
10	私たちの大切な足 名寄本線・興浜南線を守ろう！	1984年5月	3
11	暮らしの生命線 名寄本線存続を！	1984年6月	2
12	みんなで守ろう！名寄本線・興浜南線	1984年9月	14
13	“名寄本線利用促進町民参加の旅”実施される！！	1984年11月	5
14	新年のごあいさつ（町議会議長品田辰雄）	1985年1月	2
15	大切な住民の足 名寄本線を守ろう！！	1985年4月	6
16	第2弾 名寄本線利用促進町民参加の旅（新緑を求めて、くつろぎの旅）実施される！	1985年7月	4
17	★さよなら興浜南線★ 7月15日からバスに転換	1985年7月	5
18	表紙	1985年8月	表紙
19	ありがとう！そしてさようなら興浜南線 7月14日、思い出を乗せてさよなら列車が走った	1985年8月	2～3
20	国鉄興浜南線代替バス運行開始—7月15日から—	1985年8月	4
21	新年のごあいさつ（町議会議長品田辰雄）	1986年1月	2
22	昭和62年度第1回定例町議会 国鉄問題	1986年4月	2
23	ローカル線に揺られて年忘れ	1987年1月	16
24	21世紀に向け一大飛躍の年（町議会議長品田辰雄の新年挨拶）	1988年1月	3
25	名寄の高校生が存続願ひ駅伝 網走まで208キロ	1988年9月	12
26	明年4月1日から名寄本線全線がバス転換	1988年12月	5
27	地域問題・町の将来構想など…町内14の会場でひざを交えて懇談	1989年3月	2～3
28	表紙	1989年6月	表紙
29	カメラルポ さようなら名寄本線	1989年6月	4～5
30	名寄本線代替バス運行開始	1989年6月	2
31	さようなら 思い出おーい名寄本線	1989年6月	3
32	名寄線等跡地利用対策委員会設置される	1989年7月	3

西興部村立図書館所蔵『広報にしおこっぺ』

番号	記事名	掲載号	頁
1	トレーニングセンターの使用条例制定など	1982年12月	7
2	村民のみなさんへの年賀状	1983年1月	1
3	国鉄名寄本線の廃止に絶対反対する要望意見書について	1983年2月	3
4	質問に答えて「団体に対する補助金」	1983年4月	9

内容摘記	備考
国鉄赤字ローカル線廃止への批判。	
興浜南線の第三セクター化についての言及あり。	
名寄本線廃止反対運動継続中の記述あり。	
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	
名寄本線の利用促進の呼び掛け。「知事意見書」あり。	
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	
「町民参加の旅」実施についての概要報告。	
興浜南線廃止決定，名寄本線廃止保留についての言及あり。	
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	
「町民参加の旅」実施についての概要報告。「乗って守ろう名寄本線！」の呼びかけもあり。	
バス転換の概要報告。	
「半世紀の歴史に終止符，国鉄興浜南線」の記載と列車の写真あり。	
興浜南線廃止さよなら列車の運転概要。	
初日の概況報告。	
名寄本線の廃止保留解除についての言及あり。	
4月を目途に運賃助成を実施する旨の記載あり。	
名寄本線利用による「オホーツク忘年会」の実施概況。	
名寄線廃止について若干の言及あり。	
名寄線存続を求める高校生の駅伝。	
名寄本線存続断念の経緯とバス転換決定の報告。	
代替バス，跡地利用についての質疑応答あり。	
名寄本線最終日の写真。	
名寄本線最終日の写真ルポ。	
バス転換初日の概況。バスの運転本数など。	
名寄本線の歴史概説とお別れ式についての報告。	
跡地利用の検討開始報告。	

内容摘記	備考
国鉄分割・民営化に反対する意見書提出の決定。	
井上村長，美田議会議長による名寄線問題の言及あり。	
議員提出。	
名寄線を守る住民会議交付金200千円計上。	

番号	記事名	掲載号	頁
5	国鉄名寄本線廃止反対運動の展開について	1983年4月	4
6	この足を切れと言うのか!! 名寄線は廃止させない 石山一郎氏が決意表明	1983年6月	6
7	名寄本線絶対確保中央アピール団上京	1983年10月	6
8	たくさんの激励ありがとう	1983年12月	3
9	村民のみなさんへの年賀状	1984年1月	1
10	国鉄運賃値上げ線区別運賃制度導入反対など 第四回定例会	1984年12月	3
11	国鉄荷物扱いの廃止について	1984年4月	8
12	国鉄名寄本線存続に関する陳情	1984年4月	8
13	議会通信 第二回臨時会	1984年6月	7
14	議会通信 第三回臨時会	1984年7月	4
15	議会通信 第二回定例会	1984年8月	7
16	議会通信 第三回定例会	1984年11月	6～7
17	名寄本線存続にご協力を 2月11日紋別流氷祭りへ	1985年2月	4
18	議会通信 第一回定例会	1985年4月	9～10
19	表紙	1985年4月	表紙
20	議会通信 第一回臨時会	1985年6月	5
21	名寄本線存続運動を実施 名寄本線に乗って氷のトンネル探勝の旅	1985年8月	2
22	議会通信 第三回臨時会	1985年9月	4
23	議会通信 第二回臨時会	1986年7月	6
24	議会通信 第三回臨時会	1986年8月	5
25	議会通信	1986年11月	4
26	村民の皆様 明けましておめでとうございます	1987年1月	2
27	議会通信 第二回定例会	1987年8月	7
28	村民の皆様 明けましておめでとうございます	1988年1月	2
29	議会通信 第一回定例会	1988年6月	4
30	議会通信 第一回臨時会	1988年6月	6
31	議会通信 第四回臨時会	1988年9月	4
32	議会通信 第五回臨時会	1988年10月	5

内容摘記	備考
網走支庁管内総合開発期成会，名寄本線・湧網線・池北線各線代表者会での意見交換実施。	
名寄本線廃止反対の総決起集会の概要。	
東京銀座での反対運動の概要報告。	
上興部出身田内武男氏の書簡紹介。	
井上村長による国鉄問題への言及あり。	
国鉄運賃値上げ線区別運賃制度導入に反対する意見書について。	
84年2月1日から荷物扱い廃止。	
自民党，関係省庁への名寄本線廃止反対の陳情。	
国鉄二次線に関する線区別懇談会開催と副知事への名寄本線廃止反対の要請。	
「住民の声無視できず 生命線＝名寄本線廃止承認保留 !! 乗って残そう名寄本線!!。」の表題で廃止保留の報告。	
国鉄二次線廃止承認について 名寄本線は存続見通し。	
名寄本線廃止延期，分割民営化による運賃値上げ懸念についての記載あり。	
乗車運動の一環としての紋別流水祭りの実施。名寄本線への乗車呼びかけ。	
名寄本線厳冬期調査，同線乗車運動の実施報告。	
上興部駅の改札風景。	
名寄本線存続陳情。	
名寄本線乗車運動の報告。	
氷のトンネルの旅実施報告。	
特定地方交通線対策協議会への参加決定。	
国鉄名寄本線外地方交通線対策協議会総会（7月3日，於興部町）の報告。鉄道存続を前提に対策協議会へ参加決定。	
第1回名寄線特定地方交通線対策協議会（7月15日，於札幌市）の概要。	
国鉄名寄本線廃止問題への言及あり。	
JR北海道名寄本線の存続についての陳情，第二回対策協議会の開催見通し。	
三宅村長挨拶中，名寄本線問題に言及。	
北海道庁に対するJR名寄本線存続のための存続要請。	
名寄本線存続を巡る陳情。沿線首長の懇談会報告，「名寄本線を守る西興部住民会議」による対応の村長，村議会への一任。	
7月28日名寄本線沿線市町村長会議の概要。	
9月5日開催の第三回名寄本線特定地方交通対策協議会の開催。	

番号	記事名	掲載号	頁
33	議会通信 第四回定例会	1989年2月	6
34	西興部村名寄本線代替輸送確保基金条例の制定	1989年4月	11
35	議会通信 第一回定例会	1989年4月	10
36	5月1日からバス運行に 定期差額補償手続きなどお忘れなく	1989年4月	2～3
37	開村の原動力 名寄本線に最後のお別れ 5月1日よりバス運行	1989年6月	2
38	議会通信 第三回臨時会	1989年8月	4

下川町公民館所蔵『広報しもかわ』

番号	記事名	掲載号	頁
1	新春を迎えて（川原満市長）	1982年1月	2
2	名寄本線を存続しふるさと下川を守ろう！	1983年2月	6～7
3	町民の総意で名寄本線を絶対確保しふるさと下川を守ろう	1983年4月	6～7
4	名寄本線を絶対確保する沿線住民大会への参加を…	1983年5月	2～3
5	表紙	1983年6月	表紙
6	名寄本線絶対確保へ百人参加！！	1983年6月	4
7	年頭にあたって（横路孝弘知事）	1984年1月	2
8	町民の総意で名寄本線を絶対確保しよう。	1984年4月	8
9	国鉄名寄本線を絶対確保しよう！！	1984年5月	2
10	国鉄名寄本線を絶対確保しよう 知事，運輸省に意見提出	1984年6月	2～3
11	国鉄名寄本線廃止保留	1984年7月	6
12	町民の総意で国鉄名寄本線を絶対確保しよう。	1984年7月	6
13	旅行・出張・出勤にはぜひ国鉄名寄本線を利用しましょう=皆で乗って，皆で守ろう，ふるさと名寄本線	1984年10月	9
14	旅行・出張には，往復キップを購入し，素晴らしい旅立ちに，名寄本線の利用を！！	1984年12月	3
15	旅行・出張等には，往復キップを購入し，今年も旅立ちに，ぜひ名寄本線の利用を！！	1985年1月	7
16	旅行・出張には，往復キップを購入し，素晴らしい旅立ちに，名寄本線の利用を！！	1985年2月	5
17	旅行・出張には，往復キップを購入し，素晴らしい旅立ちに，名寄本線の利用を！！	1985年3月	6
18	旅行・出張には，往復キップを購入し，素晴らしい旅立ちに，名寄本線の利用を！！	1985年4月	9
19	旅行・出張には，往復キップを購入し，素晴らしい旅立ちに，名寄本線の利用を！！	1985年5月	11



内容摘記	備考
バス転換決定への経過説明。	
基金条例制定の報告。	
バス転換概要。	
代替バス運行の概要，補償手続きの概要。	
運行最終日のお別れ式の概要。	
名寄線代替バス運営の補助金交付関係の覚書取り交し。	

内容摘記	備考
国鉄赤字ローカル線廃止問題に若干言及あり。	
下川町内での利用実態と廃止反対の記述。ハガキによる廃止反対の大臣への直訴の呼び掛け。	
廃線反対の意見広告。ハガキによる大臣への直訴の呼び掛け。	
沿線十か市町村開催の総決起集会への参加の呼び掛け。	
国鉄名寄本線絶対確保パレードの写真。	
総決起集会の概要とハガキによる廃止反対の大臣への直訴の呼び掛け。	
国鉄赤字ローカル線問題への若干の言及有り。	
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	名寄本線絶対確保下川町民会議名
これまでの経過とハガキによる大臣への直訴の呼び掛け。	
運輸省提出の知事意見書概要とハガキによる大臣への反対直訴の呼び掛け。	
廃止保留の報告と廃線反対運動継続への呼び掛け。	
廃止反対の呼び掛け。	名寄本線絶対確保下川町民会議名
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	下川町・名寄本線絶対確保下川町民会議名
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	下川町・名寄本線絶対確保下川町民会議名
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	下川町・名寄本線絶対確保下川町民会議名
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	下川町・名寄本線絶対確保下川町民会議名
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	下川町・名寄本線絶対確保下川町民会議名
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	下川町・名寄本線絶対確保下川町民会議名
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	下川町・名寄本線絶対確保下川町民会議名
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	下川町・名寄本線絶対確保下川町民会議名

番号	記事名	掲載号	頁
20	第2回 走るビヤホール列車 乗って守ろう名寄本線!!	1985年5月	11
21	旅行・出張には、往復キップを購入し、素晴らしい旅立ちに、名寄本線の利用を!!	1985年6月	10
22	夏の家族旅行には、往復キップを購入し、素晴らしい旅立ちに、名寄本線の利用を!!	1985年7月	3
23	夏の家族旅行には、往復キップを購入し、素晴らしい旅立ちに、名寄本線の利用を!!	1985年8月	14
24	夏の家族旅行には、往復キップを購入し、素晴らしい旅立ちに、名寄本線の利用を!!	1985年9月	12
25	旅行・出張には、往復キップを購入し、素晴らしい旅立ちに、名寄本線の利用しましょう!!	1985年11月	3
26	年頭にあたって(原田四郎下川町長)	1986年1月	2
27	名寄本線利用促進補助制度	1987年4月	15
28	存続の夢のせて リゾート列車に226人(下川40人)参加	1987年5月	8
29	ご存知ですか…? 運賃補助制度	1987年5月	8
30	石積ゴロゴロ名寄本線イベント列車一	1987年10月	6
31	おじゃましまへす おとうさん特派員の町政訪問記⑧	1988年12月	4～6
32	話題あれこれ	1988年12月	12～13
33	名寄本線 代替バスは5月1日から運行 名寄・下川間に17本	1989年3月	2
34	平成元年度町政執行方針 住むことに喜びをもつふるさとづくり(原田四郎町長)	1989年5月	2～3
35	話題あれこれ 思い出お～い名寄本線	1989年5月	8

名寄市北国博物館所蔵『広報なよろ』

番号	記事名	掲載号	頁
1	大詰めを迎えた地方交通線問題	1981年2月	4
2	廃止阻止に向け運動展開＝名寄本線を守る名寄市民会議＝	1983年1月	3
3	名寄本線を市民の総意で存続させよう。	1983年1月 臨時号	2～3
4	乗って守ろう名寄本線 私もひとこと	1983年1月 臨時号	4～5
5	表紙	1983年2月	表紙
6	277人が名寄本線138キロの旅 鉄路の旅を満喫	1983年5月	2～5
7	名寄本線死守へ総力	1983年9月	6～7

内容摘記	備考
走るビヤホール列車（名寄→下川→興部往復）の広告。	名寄市民会議・下川町名寄本線絶対確保町民会議後援
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	下川町・名寄本線絶対確保下川町民会議名
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	下川町・名寄本線絶対確保下川町民会議名
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	下川町・名寄本線絶対確保下川町民会議名
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	下川町・名寄本線絶対確保下川町民会議名
名寄本線の利用促進の呼び掛け。	下川町・名寄本線絶対確保下川町民会議名
名寄本線廃止問題に若干の言及有り。	
名寄本線の廃線危機と補助制度の内容説明。	
「名寄本線リゾートエクスプレス号」での温根湯温泉旅行（4月18・19日か）の概要。	
補助制度の内容告知。	
イベントの概要。	
名寄本線廃止に関する質疑応答あり。第三セクターではコスト負担できないため，バス転換を受け入れたとの記述あり。	田畑寿彦，森義幸両氏による桜木実（町政振興室長）へのインタビュー
町議会での名寄本線廃止を巡る議論時の写真。	
廃線決定までの経過概要と転換後のバス運行の概要。	
廃線後の対応としてプロジェクトチームを編成。	
「お別れ列車」の出発式の模様概要。	

内容摘記	備考
名寄本線，深名線廃止の市財政，地域経済への影響。	
鉄道の町としての名寄市についての説明と廃止反対運動参加の呼び掛け。	
市財政経済，地域経済への悪影響と廃止反対署名と廃止反対総決起大会への参加呼び掛け。	
市民六名の反対表明。	
国鉄名寄本線を守る市民総決起大会の写真。	
「乗ってみませんか名寄本線138キロの旅」の状況報告。	
国鉄特定地方交通線確保対策全道大会（8月9日，於札幌市）の報告。	

番号	記事名	掲載号	頁
8	名寄本線確保アピール団 名寄本線存続を銀座で呼びかける	1983年10月	2～3
9	あなたも年賀状で参加を!!	1983年11月	8
10	年賀状コンクールに出品を	1983年12月	14
11	正念場を迎えた国鉄名寄本線	1984年6月	2～3
12	運輸省が廃止承認を保留 名寄本線に存続の望み	1984年7月	7
13	みんなで乗ってみんなで守ろう 名寄本線	1985年1月	8
14	国鉄・交通ほか	1985年4月	4
15	国鉄名寄本線の存続を ハガキによる最後の訴え!!	1985年7月	4
16	国鉄名寄本線 運輸省が廃止承認	1985年9月	2～3
17	過疎化に拍車! 名寄本線の存続に全力を!	1986年5月	4
18	国鉄の広域配点はじまる	1986年5月	5
19	表紙	1987年5月	表紙
20	名寄本線に乗って鉄路を守ろう グループ団体に乗車運賃の1/3を助成	1987年5月	10
21	サヨナラ名寄本線 いま、68年の歴史に幕がおろされます	1989年4月	12
22	新しい代替バスが通勤・通学の足に	1989年4月	13

内容摘記	備考
東京銀座での名寄本線廃止反対活動の報告。北海道の赤字ローカル線については特定法制定を要求。	
沿線での廃止反対運動概況と名寄本線関係の年賀状コンクールの実施。	
名寄本線存続を訴える年賀状コンクールへの参加呼び掛け。	
廃止反対運動の経過概要，地域振興への不可欠性についての説明，知事の廃止反対意見書。	
名寄本線廃止保留についての報告。	
存続運動継続の呼び掛け。	
名寄本線存続運動の継続。	
廃止反対を訴えるハガキが6,700通に達したことの報告。	
これまでの経過と廃止反対運動の継続。利用者の声3名分，市長，議会議長の談話掲載。	
市民乗車運動参加への呼び掛け。	
市財政，地域経済への影響を懸念する内容。	
「リゾートエクスプレス号で名寄本線に乗ろう」企画の写真。	
運賃助成制度の概要説明。	
名寄本線存続断念の表明と代替バスの運行概要。	
定期運賃の差額補償制度についての概要。	

第3章 旧国鉄名寄本線沿線自治体所蔵行政文書（湧別町役場所蔵分は除く）

遠軽町役場所蔵旧国鉄名寄本線廃線・バス転換関係資料

番号	簿冊名	自（年月日）	至（年月日）
1	国鉄名寄本線外施設整備強化促進期成会綴	1977年9月3日	1979年2月14日
2	国鉄地方交通線関係綴	1981年11月 日付不明	1981年3月20日
3	昭和57年度 遠軽町名寄本線湧網線廃止反対小中学生作文集綴	1983年2月3日	1983年2月3日
4	国鉄名寄本線と湧網線の存続を訴える要請署名簿（職場）	1982年日付不明	
5	昭和57年度 国鉄地方交通線関係綴	1982年3月23日	1983年3月31日
6	昭和58年度 国鉄地方交通線関係綴 No.1	1983年11月7日	1983年4月4日
7	昭和58年度 国鉄地方交通線関係綴 No.2	1983年11月10日	1984年3月7日
8	昭和57年度 遠軽町名寄本線・湧網線廃止反対町民協議会関係綴	1982年12月2日	1983年4月28日
9	昭和58・59年度 遠軽町名寄本線・湧網線廃止反対町民協議会関係綴	1983年11月18日	1984年11月26日
10	昭和59年度 国鉄地方交通線関係綴 1号	1984年4月10日	1984年7月18日
11	昭和59年度 国鉄地方交通線関係綴 2号	1984年7月20日	1985年2月24日

簿冊作成者	内容摘記	備考
庶務係	国鉄合理化反対関係、施設整備強化推進関係。	
企画係	特定地方交通線対策協議会など廃線反対運動関係、名寄本線・渚滑線・興浜南線の存続要望書、住民の足を守る遠軽町民会議関係、経営改善計画案。	
企画係	小中学生の名寄・湧網両線廃線反対関係作文集。	A4版の黒表紙で綴じ込み。
遠軽町	両線存続を求める署名簿。	B4版の黒表紙で綴じ込み。
企画係	名寄本線外地方交通線対策協議会関係など廃線反対運動関係、北海道における特定地方交通線廃止に関する反対決議（自民党北海道代議士会）、営業体制近代化関係、名寄線乗車促進関係、新しい鉄道貨物営業について、石北線貨物集約・営業近代化関係、分割民営化反対関係、地方交通線の利用実態調査。	
企画係	貨物列車廃止等国鉄合理化関係、名寄本線特定地方交通線対策協議会関係、中央へのアピールなど名寄線廃線反対運動関係、知事への陳情（存続要請）、幌内線問題に関する陳情書、標津線存続請願書、池北線存続請願書、松前線存続関係請願書、名寄線乗車促進運動関係。	A4版の黒表紙で綴じ込み。
企画係	特定地方交通線対策協議会など廃線反対運動関係、特定地方交通線資料、紋別市への名寄線廃線関係の質問、中央要請の発言要旨（紋別市作成）、割増運賃導入に関する要望、貨物取扱い廃止関係、名寄本線・湧網線廃止反対町民協議会報告、北海道総局の業務概要。	A4版の黒表紙で綴じ込み。
企画係	廃止反対町民協議会関係。	A4版の黒表紙で綴じ込み。
企画係	廃止反対町民協議会関係、運輸省による名寄本線に関するヒアリング、利用促進運動関係、国鉄北海道総局宛存続要請。	
企画財政係	第2次線確保市町村協議会関係、廃線反対運動関係、国鉄名寄本線外地方交通線対策協議会関係、国鉄名寄本線存続に係る陳情者名簿、国鉄名寄本線絶対確保中央陳情に伴う顛末、遠軽町の概況、国鉄利用上の問題点に関する調査。	
企画財政係	国鉄名寄本線外特定地方交通線対策協議会関係、西北線営業近代化関係、利用促進関係、地方交通線問題について、国鉄名寄本線を乗りやすくする要望書、廃線反対関係、貨物取扱廃止関係、荷物取扱廃止関係陳情、国鉄名寄本線を乗りやすくする要望と回答（旭川鉄道管理局）、名寄本線厳冬期調査関係、85年3月ダイヤ改正に対する要望。	

番号	簿冊名	自（年月日）	至（年月日）
12	昭和60年度 国鉄地方交通線関係綴	1985年4月4日	1986年1月5日
13	昭和61年度 国鉄地方交通線関係綴	1986年3月29日	1987年3月20日
14	名寄線特定地方交通線対策協議会書類	1986年7月9日	1988年8月29日
15	昭和62年以降 名寄本線利用促進補助金関係綴	1987年4月14日	1989年2月28日
16	昭和62・63年度 名寄線対策協議会	1987年12月14日	1988年1月28日
17	昭和63年度 地方交通線関係綴	1988年3月30日	1989年3月24日
18	平成元年度 地方交通線関係綴（名寄線代替バス運営協議会）	1989年10月31日	1989年12月28日
19	63 名寄線対策協議会	1988年4月25日	1989年11月9日
20	タイトルなし	1988年11月4日	1988年12月28日
21	道内各地のローカルニュース	1990年3月8日	1989年3月8日
22	タイトルなし	1990年1月11日	1989年5月1日
23	旧名寄本線支障物件売払指名願綴	1990年日付不明	1990年日付不明
24	地方交通線関係綴	1991年6月26日	1990年3月28日
25	名寄線廃止・転換バス	不明	不明
26	記念誌「名寄本線」頒布台帳	年不明	年不明



簿冊作成者	内容摘記	備考
企画財政係	国鉄名寄本線外地方交通線対策協議会関係，はがきによる存続要請関係，長大四線取扱いに対する陳情書，国鉄分割民営化関係資料，「国鉄改革に関する意見（案）」（国鉄再建監理委員会），長大四線廃止予定時期及び会議開始希望日（旭川鉄道管理局），保留四線の廃止承認関係，経営概況（国鉄北海道総局）。	
企画財政係	長大四線の特定地方交通線対策協議会の早期開始要請，保留四線関係など地方交通線対策協議会関係，国鉄名寄本線関係市町村関係（知事，代議士の発言あり），名寄本線特定地方交通線対策協議会関係，61年11月ダイヤ改正関係，国鉄名寄本線を乗りやすくする要望書，長大四線対策協議会関係資料，利用促進イベント関係。	
不明	第三セクター関係試算（代議士への質問を含む），名寄本線廃止反対町民協議会関係，バス転換関係資料，名寄線特定地方交通線対策協議会関係，標津線・池北線・天北線・名寄線第1回特定地方交通線対策協議会議事録。	
企画財政係	名寄本線利用促進補助金交付申請書の綴り。	赤のバインダーに綴じ込み。
企画財政係	第三セクター化収支試算，バス転換収支試算，代替バス運行関係資料，代替バス補助金関係。	
企画財政係	名寄線存続関係道要請など廃線反対関係，長大四線廃線反対関係，三陸鉄道関係資料，名寄本線廃止反対町民協議会役員会議案（第三セクター化関係試算を含む），名寄線収支，名寄線バス転換プロジェクト委員会設置関係，名寄線対策協議会解散通知，代替バス運行関係，跡地利用関係，第5回特定地方交通線協議会議事録，転換促進事業交付金関係。	
企画財政係	跡地利用関係，代替バス運行関係，名寄線記念誌送付関係，名寄線お別れ式関係。	
不明	第三セクター化収支試算，バス転換収支試算。	B4版黒表紙で綴じ込み。一部破損あり。取扱い注意。
不明	バス転換関係書類。	B4版黒表紙で綴じ込み。
不明	バス転換関係書類。	黄色のバインダーで綴じ込み。
不明	バス転換関係書類，交付金関係，PTA役員名簿。	
不明	名寄本線関係物件の売却関係綴り。	緑のバインダーに綴じ込み。
企画係	跡地利用関係，代替バス運行関係，名寄本線廃線反対関係。	
不明	廃線反対関係，第三セクター化収支試算，名寄線通学利用状況，バス転換関係。	
企画係	記念誌の配布先。	

紋別市立博物館所蔵旧国鉄名寄本線廃線・バス転換関係資料目録

番号	簿冊名	自（年月日）	至（年月日）
1	国鉄地方交通線関係（復命書綴）	1981年10月9日	1982年9月3日
2	国鉄地方交通線関係	1983年11月18日	1985年5月20日
3	国鉄地方交通線関係	1985年3月13日	1985年11月22日
4	国鉄地方交通線関係	1986年1月6日	1986年10月14日
5	国鉄名寄本線絶対確保紋別市民協議会関係	1982年12月6日	1983年2月20日
6	国鉄名寄本線絶対確保紋別市民協議会関係No.1	1983年1月31日	1984年7月4日
7	国鉄名寄本線絶対確保紋別市民協議会関係No.2	1984年5月1日	1987年3月7日
8	国鉄名寄本線絶対確保紋別市民協議会関係No.3	1987年3月13日	1988年9月24日
9	国鉄名寄本線絶対確保紋別市民協議会関係No.4	1988年9月30日	1989年3月25日
10	国鉄名寄本線外地方交通線対策協議会議会関係	1982年12月11日	1984年3月24日
11	国鉄名寄本線外地方交通線対策協議会議会関係	1985年1月14日	1985年12月20日
12	国鉄名寄本線外地方交通線対策協議会議会関係No.4	1987年1月8日	1986年9月3日
13	国鉄名寄本線外地方交通線対策協議会議会関係No.5	1987年9月7日	1987年5月9日
14	三陸鉄道関係	1982年6月19日	1982年6月19日
15	事務研究会関係（国鉄オホーツク本線建設促進期成会）	1981月日不明	1982年6月24日
16	国鉄オホーツク本線建設促進期成会No.2	1981年10月7日	1982年9月25日
17	国鉄オホーツク本線建設促進期成会No.3	1982年3月10日	1983年7月20日

簿冊作成者	内容摘記	備考
商工観光課鉄道跡地対策室	復命書, 国鉄特定地方交通線関係市町村会議顛末書。	箱番号① 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	特定地方交通線関係（廃止転換調査, 知事意見, 沿線自治体との会議関連を含む）。	箱番号① 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	天北線, 名寄線対策関係（厳冬期調査を含む）, 国鉄再建関係, 国鉄ローカル線関係都市協議会関係, 長大四路線経営改善計画, 第一次地方交通線廃止転換後の調査。	箱番号① 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	国鉄改革関係（要望, 運輸相への陳情を含む）, 国鉄ローカル線関係都市協議会関係, 名寄線記録映画撮影関係, 会合出席復命書。	箱番号① 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	名寄本線廃止反対運動関係文書（署名, 利用性向上関係を含む）, 名寄・湧網・池北三線存続関係, 網走支庁管内総合開発期成会関係。	箱番号① 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	名寄本線廃線反対運動関連（署名, 中高生作文を含む）。	箱番号① 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	名寄本線廃線反対運動関連（イベント列車の運行関係を含む）。	箱番号② 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	イベント列車運行関係, 名寄本線廃線反対運動会合関係。	箱番号② 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	復命書（第三セクター関係視察調査）, 名寄本線反対運動関係, 存続道庁案（遠軽～紋別）関係。	箱番号② 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	名寄本線廃線反対決議, 道庁への申入れ, 地方交通線対策協議会主管課長会議関係。	箱番号② 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	名寄, 天北, 池北三線厳冬期調査, 名寄本線存続陳情関係, オホーツク本線建設推進関係, 「国鉄改革に関する意見」送付関係, 国鉄分割民営化説明会関係。	箱番号② 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	国鉄名寄本線外地方交通線対策協議会主管課長会議関係, JR・道運輸局への名寄線存続陳情, 利用向上イベント関係, 国鉄経営成績関係。	箱番号③ 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	イベント列車運行関係, 名寄線対策協議会市町村長会議関係, 名寄線沿線主管課長会議関係, 天北・名寄・池北・標津各線の維持存続関係。	箱番号③ 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	（復命書）三陸縦貫鉄道の視察調査が目的。	箱番号③ 形態B4
商工観光課鉄道跡地対策室	オホーツク本線建設促進関係。	箱番号③ 形態B4 最初に日付が分かる文書は1982年4月14日
商工観光課鉄道跡地対策室	オホーツク本線建設促進関係。	箱番号③ 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	オホーツク本線建設促進関係, 興浜北線第3セクター化調査関係を含む。	箱番号④ 形態B5

番号	簿冊名	自（年月日）	至（年月日）
18	国鉄オホーツク本線建設促進期成会No.4	1984年7月18日	1984日付不明
19	国鉄オホーツク本線建設促進期成会No.5	1985年9月25日	1985年4月22日
20	国鉄ローカル線関係都市協議会	1980年3月21日	1981年10月26日
21	国鉄ローカル線関係都市協議会	1987年1月14日	1989年1月24日
22	興浜南・北線，特定地方交通線対策協議会関係	1982年9月20日	1984年11月30日
23	興浜線第3セクター化に関する調査	1983年3月	1983年3月
24	興浜南北線特定地方交通線対策協議会幹事会関連	1983年3月	1983年3月
25	地方交通線対策調査報告書（北海道委託）	1984年3月	1984年3月
26	地方交通線対策調査報告書（要旨）	1984年3月	1984年3月
27	地方交通線対策調査報告書（資料編）	1984年3月	1984年3月
28	地方交通線対策調査報告書（興浜線）要約	1984年3月	1984年3月
29	特定地方交通線（第2次申請路線）に関する知事意見	1984年5月	1984年5月
30	特定地方交通線及び国鉄新線の第3セクター化への手引き	1982年3月	1982年3月
31	北海道旅客鉄道（株）社員名簿	1987年	1987年
32	第3セクター関係	1980年	1981年
33	輸送需要調査報告書（名羽線・美幸線・興浜線）	1984年12月	1984年12月
34	興浜線・美幸線第3セクター化に関する調査	1983年3月	1983年3月
35	名寄線廃止関係記録写真集	1989年4月30日	－
36	写真ネガアルバム	1985年3月31日	1989年4月30日
37	特別展パンフレット	1995年7月1日	不明
38	名寄線さよなら列車録音テープ	1998年6月16日	－
39	国鉄名寄本線存続を訴える要請署名（写し）	1983年2月2日	－

注1) 本目録は、他の自治体とフォーマットを統一する関係上、紋別市立博物館作成の目録(非公開)にた。記して厚く感謝申し上げたい。なお、現在、史料を別の箱へ入替中であり、箱番号は変わ  
 注2) 作成者欄の商工観光課鉄道跡地対策室は、原目録では「主務課」となっている。

旧国鉄（JR）名寄本線、旧国鉄湧網線沿線自治体所蔵廃線・バス転換関係資料目録

簿冊作成者	内容摘記	備考
商工観光課鉄道跡地対策室	オホーツク輸送本線建設促進関係、興浜北線第3セクター化調査関係、美幸・興浜南線・興浜北線・相生線の輸送転換方策を含む。	箱番号④ 形態B5 最後に日付が分かる文書は1984年9月27日
商工観光課鉄道跡地対策室	オホーツク本線建設促進関係、興浜南・北線に対する道運輸交通審議会関係等両線存続関係を含む。	箱番号④ 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	国鉄ローカル線関係都市協議会・同役員会関係。	箱番号④ 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	国鉄ローカル線関係都市協議会・同役員会関係、国鉄関係資産処分関係。	箱番号④ 形態B5 最後の文書の日付が不明。
商工観光課鉄道跡地対策室	興浜南・北線、特定地方交通線対策協議会関係、オホーツク本線関係。	箱番号⑤ 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	資料4冊。	箱番号⑤ 形態A4 4分冊
商工観光課鉄道跡地対策室	資料。	箱番号⑤ 形態B4
商工観光課鉄道跡地対策室	資料。	箱番号⑤ 形態B4
商工観光課鉄道跡地対策室	資料。	箱番号⑤ 形態B4
商工観光課鉄道跡地対策室	資料。	箱番号⑤ 形態B4
商工観光課鉄道跡地対策室	資料。	箱番号⑤ 形態B4 2分冊
商工観光課鉄道跡地対策室	資料。	箱番号⑤ 形態B4
商工観光課鉄道跡地対策室	資料。	箱番号⑤ 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	資料。	箱番号⑤ 形態B5
商工観光課鉄道跡地対策室	資料。	箱番号⑤ 形態B4
商工観光課鉄道跡地対策室	資料。	箱番号⑤ 形態B4
商工観光課鉄道跡地対策室	資料。	箱番号⑤ 形態A4
商工観光課鉄道跡地対策室	『名寄本線』というタイトルで公刊。	箱番号⑤ 形態B5
不明	渚滑線・名寄本線廃止関係ネガアルバム。	箱番号不明
不明	特別展「ありし日の名寄本線・渚骨線」。	
広幡孝俊	名寄本線さよなら列車録音テープ。	カセットテープ 受9810
商工観光課	国鉄名寄本線存続を訴える要請署名（写し）。	箱番号⑥ 形態B4 総理他宛文書付

手を加えたものである。本目録の作成には紋別市役所小番宗幸氏、同博物館の皆様方にご協力を賜う可能性がある。この点に注意されたい。

下川町役場所蔵 旧国鉄名寄本線廃線問題関係「陳情書」目録

番号	文書名	作成年月日	作成者
1-1	62年度予算に係る陳情要望事項	1986年4月10日	企画課
1-2	道連政策策定地方会議陳情・要望事項	1986年4月10日	企画課
1-3	北海道開発庁 陳情書	1985年11月22日	企画課
1-4	移動政調会の要望事項	1985年9月14日	企画課
1-5	参議院議員岩本政光 陳情書	1985年7月10日	企画課
1-6	日本社会党・道民連合会北海道議会議員会 陳情書	1985年5月10日	企画課
1-7	自由民主党北海道支部連合会移動政調会	1985年9月27日	企画課
2	国鉄地方交通線対策にかかる国鉄名寄本線運行確保に関する陳情	-	企画課
3	平成元年名寄線廃止による跡地活用地域振興対策	1989年3月23日	企画課

注) 本目録の作成に当たり、個人情報保護法の関係上、下川町教育委員会にフォーマットへの入力

旧国鉄（JR）名寄本線，旧国鉄湧網線沿線自治体所蔵廃線・バス転換関係資料目録

宛先	内容摘記	備考
不明	国鉄名寄本線存続。	1979年度～1985年度 陳情書綴
不明	国鉄名寄本線存続。	1979年度～1985年度 陳情書綴
北海道開発庁	国鉄名寄本線存続。	1979年度～1985年度 陳情書綴
自由民主党	国鉄名寄本線存続。	1979年度～1985年度 陳情書綴
参議院議員 岩本政光	国鉄名寄本線存続。	1979年度～1985年度 陳情書綴
日本社会党	国鉄名寄本線存続。	1979年度～1985年度 陳情書綴
自由民主党	国鉄名寄本線存続。	1979年度～1985年度 陳情書綴
-	国鉄名寄本線存続。	1986年度～1989年 陳情書 9
J R旭川支社	跡地活用。	1986年度～1989年 陳情書 10

お願いした。記して深甚なる謝意を表したい。

## 第4章 旧国鉄湧網線沿線自治体廃線・バス転換関係『広報』記事目録

### 網走市立図書館所蔵『広報あばしり』

番号	記事名	掲載号	頁
1	地方時代に即応した街づくり（安藤哲郎市長）	1981年1月	2
2	絶対確保！市民の足 国鉄湧網線と浜網走駅絶対確保市民総決起集会	1983年11月	8
3	国鉄から 湧網線の廃止について	1987年2月	6
4	『さようなら湧網号』半世紀の歴史に幕	1987年4月	9
5	代替バス発車式	1987年4月	9
6	卯原内・能取駅跡地が“交通公園”に	1987年9月	7
7	表紙	1988年7月	表紙

### 旧常呂町（現北見市常呂）常呂図書館所蔵『広報ところ』

番号	記事名	掲載号	頁
1	国鉄湧網線の合理化	1980年9月	4～5
2	『国鉄再建法』が成立 湧網線の廃止は微妙～存続に向けて陳情運動を展開～	1980年12月	17
3	夏休みチビっ子体験旅行―湧網線存続PRに一役―	1982年9月	3
4	列車内で廃止反対―湧網線沿線住民総決起大会―	1982年7月	12
5	湧網線存続を訴える～齋藤町長らが佐竹道副知事と懇談～	1984年6月	13
6	乗って残そう湧網線	1984年9月	6～15
7	湧網線存続をPR 綱引き大会に常呂から41名が参加	1984年10月	13
8	鉄路存続を断念！湧網線もバス転換へ決定	1986年3月	6
9	国鉄湧網線三月十九日で廃止―直行代替バスを運行―	1986年12月	13
10	いつまでも住みたい町づくりを目指し（齋藤秀信町長）	1987年1月	2
11	住みよい豊かな町づくりを（中原政義町議会議長）	1987年1月	3
12	国鉄湧網線は3月19日まで 代替バスは3月20日からの運行	1987年2月	2～3
13	国鉄湧網線からバス湧網線へバトンタッチ	1987年3月	5
14	わがまちことしの台所	1987年4月	2
15	惜しまれて旅立ち さようなら湧網線 50年の歴史閉じる	1987年4月	14
16	湧網線杯争奪 オホーツクとろっこ選手権 夢、走る。ところで『トロッコレース』	1987年4月	15
17	国鉄湧網線にみんなで記念乗車	1987年4月	16
18	表紙	1987年5月	表紙



内容摘記	備考
国鉄地方交通線問題への言及有り。	
9月24日実施の総決起集会の概要。	
湧網線廃止と代替バス運転についての告知。	
最終日の『さようなら湧網号』運転の概要。	
代替バス運行初日の発車式の概要。	
両駅の交通公園化についての告知。	
旧国鉄卯原内駅の交通公園としてのオープン時の写真。	

内容摘記	備考
常呂駅の貨物集約化、業務委託提案に対する反対期成会の設置。住民への国鉄利用の呼び掛け。	
湧網線廃止反対の陳情運動についての報告。	
旭川市の小学生の湧網線体験乗車。	
住民総決起集会の概要。	
オホーツク本線実現、第二次線廃止阻止、バス転換時の通学費値上げという問題の訴え。	
湧網線利用促進の呼び掛け。	
湧網線廃止反対の綱引き大会の概況。	
資金面からの第三セクター断念、バス転換選択についての説明。	
3月19日での湧網線廃止の告知。	
湧網線廃止への言及あり。	
国鉄廃止への言及あり。	
代替バスの運行詳細。	
「さよなら列車」の運行予定と鉄道用地の町による管理、記念切符の発売などの告知。	
廃線後の写真あり。	
お別れセレモニーの状況。	
トロッコレースへの参加呼び掛け。	
常呂小学校生徒の記念乗車概況。	
トロッコレースの写真。	

番号	記事名	掲載号	頁
19	よみがえっぞ“湧網線” 湧網線杯争奪オホーツクトロッコ選手権	1987年6月	2～3
20	急ピッチで進む交通ターミナル建設	1987年12月	17

佐呂間町立図書館所蔵『広報さろま』

番号	記事名	掲載号	頁
1	国鉄湧網線の合理化について	1979年12月	15
2	意見書	1980年2月	7
3	一般質問 湧網線貨物駅廃止の見通しについて	1980年2月	9
4	町長行政報告 国鉄赤字ローカル線廃止について	1980年3月	4
5	町長行政報告 国鉄合理化の問題について	1980年10月	4
6	一般行政 国鉄合理化問題について	1980年11月	13
7	湧網線の確保運動の展開を決定 佐呂間町国鉄湧網線問題対策協議会	1980年11月	14
8	新年のごあいさつ（舟木長一郎町長）	1981年1月	2
9	新春のごあいさつ（西善作議会議長）	1981年1月	3
10	第1回 臨時町議会 町長行政報告 国鉄地方路線廃止反対運動について	1981年2月	10
11	湧網線廃止反対啓蒙は	1981年3月	18～19
12	第2回 臨時町議会 町長行政報告 国鉄地方路線廃止反対運動について	1981年3月	20
13	湧網線存知の今後の対応は	1981年6月	23～24
14	湧網線存置運動の対応は	1981年6月	24
15	国鉄乗車券は佐呂間駅で買いましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1981年6月	33
16	町長行政報告 湧網線の利用対策について	1981年7月	2
17	国鉄乗車券は佐呂間駅で買いましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1981年7月	17
18	町長行政報告 湧網線の問題について	1981年8月	12
19	国鉄乗車券は佐呂間駅で買いましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1981年8月	21
20	国鉄乗車券は佐呂間駅で買いましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1981年9月	11

内容摘記	備考
トロッコ選手権の写真。	
常呂駅の交通ターミナル化工事の概要。	

内容摘記	備考
町議会での湧網線貨物廃止を巡る町長と山内議員との質疑応答。	
国鉄ローカル線廃止，運賃値上げ，線区別運賃制度導入反対に関する要望意見書。	議会宛の要望意見書
町内貨物駅廃止反対を巡る町長の見通し。	
道内における赤字ローカル線廃線反対運動に関する組織づくり。	
佐呂間町長を代表とする反対運動の現状説明。	
湧網線維持，貨物駅廃止阻止，合理化反対に関する運動内容についての石村議員と町長との質疑応答。	
対策協議会の設置と上京による反対運動実施についての概略説明。	
湧網線確保に向けて町民の支援を求める記述あり。	
町民あげての湧網線廃止反対運動の必要性に関する指摘あり。	
湧網線廃止反対運動の概要。同線確保が難しいとの記述あり。	
湧網線維持を巡る折衝が難しいこと，他路線との接続改善，切符の町内での購入の呼び掛けの必要性を巡る町長・総務課長と石村議員との質疑応答。	
運輸大臣と自治省の発言の紹介，第二回閣僚会議前の上京による陳情行動の必要性を説明。	
今後の廃止反対運動を巡る千葉議員と町長との質疑応答。	
住民を中心に運動を進めるべきではないか，との石村議員からの提起とこれに対する町長の答弁。	
利用促進の呼び掛け。	
運賃助成の導入など利用促進策を検討中との説明。	
利用促進の呼び掛け。	
沿線自治体と対策協議をしていること，今後，他の沿線自治体の意向を踏まえた対応をする旨の記載。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	

番号	記事名	掲載号	頁
21	食料の自給率と福祉水準の確保並びにローカル線の廃止凍結に関する要聖意見書	1981年10月	11
22	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1981年10月	20
23	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1981年11月	12
24	第7回臨時町議会 町長行政報告	1981年12月	4
25	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1981年12月	14
26	新年のごあいさつ（舟木長一郎町長）	1982年1月	2
27	住みよい豊かな郷土をめざして（惣田隆次議会議長）	1982年1月	3
28	湧網線存置運動の現況と対策は	1982年2月	18
29	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1982年2月	35
30	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1982年3月	9
31	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！ 湧網線の利用度を高めるためご協力を	1982年4月	13
32	貨物取扱の廃止と営業体制の合理化＝国鉄湧網線＝	1982年4月	22
33	国鉄線存置問題の対応は	1982年5月	19
34	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1982年6月	11
35	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1982年7月	14
36	第3回臨時町議会 町長行政報告 国鉄オホーツク本線問題について	1982年8月	5
37	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1982年8月	17
38	湧網線存置運動と国鉄改革の対策は	1982年9月	16
39	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1982年9月	21
40	湧網線で社会見学旅行	1982年10月	10
41	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1982年10月	15

内容摘記	備考
ローカル線廃止凍結の要請。	「要聖」は原史料の誤植。
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
「国鉄オホーツク本線建設促進期成会」の結成の報告。	
利用促進の呼び掛け。	
オホーツク本線の整備を要望中である旨の記載あり。	
当面の大きな問題として湧網線確保問題がある旨の記載あり。	
国鉄問題への対応として全線複線化を求める中原議員に対して、それは無理なのでオホーツク本線構想を実現することで湧網線の存置を目指す旨の町長からの発言あり。その際、興浜南北線の第三セクター化の実現の如何が重要であることを滲ませる発言あり。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
トラックなど他の輸送手段への貨物輸送の転移を理由に湧網線貨物合理化を受け入れる旨の記載。	
オホーツク本線を第三セクターで運営した場合、巨額の赤字が出るのではないかと石村議員からの質問に対して、第三セクターは興部-浜頓別間に限るとの町長からの答弁を記載。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
第三セクターは興部-浜頓別間のみであること、ただし、湧網線、名寄本線を存置する前提なので、関係する沿線自治体も応分の協力をすることになるとの説明あり。	
利用促進の呼び掛け。	
興部-浜頓別間の第三セクター化と、湧網・名寄両線沿線自治体も何らかの形で協力すべきとの町長の考えの表明。	
利用促進の呼び掛け。	
栃木県の小学生15名が湧網線を利用，社会見学。	
利用促進の呼び掛け。	

番号	記事名	掲載号	頁
42	国鉄再編に努力を	1982年11月	9
43	国鉄乗車券は佐呂間駅で買いましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1982年11月	15
44	第4回臨時町議会 町長行政報告 国鉄第二次廃止路線について	1982年12月	4
45	国鉄乗車券は佐呂間駅で買いましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1982年12月	13
46	国鉄乗車券は佐呂間駅で買いましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1983年1月	9
47	国鉄の存置対策、町内産物の消流加工対策の推進について	1983年2月	5
48	第一回 臨時町議会町長行政報告 国鉄の地方交通線存続対象について	1983年2月	8
49	昭和五十六年度一般会計財政運営の状況	1983年2月	13
50	国鉄湧網線佐呂間・浜佐呂間駅荷物取扱いについて	1983年2月	19
51	国鉄乗車券は佐呂間駅で買いましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1983年2月	22
52	国鉄乗車券は佐呂間駅で買いましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1983年3月	13
53	第2回 臨時町議会 町長行政報告 国鉄問題について	1983年3月	17
54	国鉄乗車券は佐呂間駅で買いましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1983年4月	17
55	第2次廃止対象ローカル線 湧網線をみんなで守ろう	1983年6月	2
56	国鉄乗車券は佐呂間駅で買いましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1983年6月	6
57	列車の中から“廃止反対”～国鉄湧網線絶対確保沿線住民総決起大会～	1983年7月	2～3
58	国鉄乗車券は佐呂間駅で買いましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1983年7月	9
59	第2回 定例町議会 町長行政報告 国鉄対策の問題について	1983年8月	5
60	国鉄乗車券は佐呂間駅で買いましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1983年8月	12
61	国鉄乗車券は佐呂間駅で買いましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1983年9月	17

内容摘記	備考
廃止反対運動も含めて，道内町村共々努力して欲しい旨の要望。	
利用促進の呼び掛け。	
第二次廃止対象路線名の運輸大臣への申請が行われる状況なので，廃止反対運動をさらに展開したいとの町長の意見表明。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
今後さらに関係団体と積極的に話し合い，実現の方向で取り組みたいとの町長発言。	
名寄，湧網，池北三路線の沿線自治体の代表者が署名書を持って反対要請をすること，北海道と九州の代議士会が合同して運動をする必要性，オホーツク本線の全通実現の必要性の表明。	
国鉄湧網線は湧網線確保対策協議会として引続き対策にあたっていている旨の記載あり。	
佐呂間駅，浜佐呂間駅での小荷物業務の変更説明。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
反対運動の経過説明と興浜南北線の第三セクター化が可能な場合，オホーツク本線の沿線となる関係協議会に説明し，了解が得られれば第三セクター化を申請する予定であることの説明。	
利用促進の呼び掛け。	
29,504名の署名が集まったこと，6月16日に湧網線絶対確保沿線住民総決起集会が行われることの告知。ハガキによる存続運動，乗車促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
総決起大会の概要，湧網線利用促進の呼び掛け，運輸大臣等へのハガキ送付による存置運動の呼び掛け。ハガキ例文，総決起大会での決議文あり。	
利用促進の呼び掛け。	
総決起集会についての報告，第二次廃止対象十四路線の沿線町村で組織する対策協議会の会長代行になったこと，今後が道を中心に総力を結集するとの運動方針についての表明。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	

番号	記事名	掲載号	頁
62	第3回定例町議会 町長行政報告	1983年10月	6
63	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1983年10月	21
64	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1983年11月	16
65	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1983年12月	11
66	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1984年1月	1
67	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1984年2月	21
68	湧網線最終列車ツアー（佐呂間－常呂往復）	1984年3月	8
69	記念乗車される方募集します（湧網線代替バス）	1984年3月	9
70	さようなら 国鉄湧網線	1984年3月	11
71	代替バス運行について	1984年3月	12
72	国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう！（湧網線の利用度を高めるためご協力を）	1984年3月	19
73	乗って残そう湧網線 ●湧網線の利用度を高めるために御協力を!! ●国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう	1984年8月	11
74	乗って残そう湧網線 ●湧網線の利用度を高めるために御協力を!! ●国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう	1984年9月	6
75	乗って残そう湧網線 ●湧網線の利用度を高めるために御協力を!! ●国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう	1984年10月	13
76	乗って残そう湧網線 ●湧網線の利用度を高めるために御協力を!! ●国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう	1984年12月	11
77	湧網線で忘年会 オホーツク忘年会	1985年1月	7
78	乗って残そう湧網線 ●湧網線の利用度を高めるために御協力を!! ●国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう	1985年1月	1
79	乗って残そう湧網線 ●湧網線の利用度を高めるために御協力を!! ●国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう	1985年2月	20
80	第二回臨時町議会 町長行政報告 湧網線特定地方交通線対策協議会の開催について	1985年3月	2
81	湧網線バス 第3回国鉄湧網線特定地方交通線対策協議会	1985年3月	3
82	乗って残そう湧網線 ●湧網線の利用度を高めるために御協力を!! ●国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう	1985年4月	6
83	第三回臨時町議会 町長行政報告 オホーツク本線について	1985年5月	4
84	日本国有鉄道の「分割・民営化」に反対する意見書	1985年12月	5



内容摘記	備考
興部－浜頓別間第三セクター化が可能との説明を受けたので，今後，オホーツク本線実現のために関係自治体と運動を強力に展開する旨，オホーツク本線実現により釧網線，名寄線，湧網線などの存続を図るために関係自治体と協力する旨の報告。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
同線最終便への乗車希望者の募集。	
代替バス出発記念号への乗車希望者の募集。	
佐呂間駅でのお別れ式の案内，さよなら列車の運転時刻。	
代替バスの運行時刻表。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
湧網線列車を使用した忘年会の概況。町民大槻哲也氏企画。	
利用促進の呼び掛け。	
利用促進の呼び掛け。	
運輸省実施の厳冬期調査への沿線一市四町の参加決定についての報告。	
第三セクター化は膨大な赤字が免れないため，バス転換を決定した旨の報告。湧網線の輸送量の推移（1975～84年度）の表あり。	
利用促進の呼び掛け。	
名寄線の存続が厳しいため，オホーツク本線の実現が難しいことを報告。	
北海道開発推進の観点からの反対意見表明。	

番号	記事名	掲載号	頁
85	湧網線関係について	1985年11月	4
86	国鉄分割民営化と湧網線について	1985年12月	5
87	第4回 定例町議会 町長行政報告 湧網線の経緯について	1986年2月	6
88	転換決定!!	1986年3月	2
89	乗って残そう湧網線 ●湧網線の利用度を高めるために御協力を!! ●国鉄乗車券は佐呂間駅で買しましょう	1986年3月	17
90	第二回臨時町議会 町長行政報告 国鉄湧網線のバス転換について	1986年4月	9
91	湧網線の廃止に伴う今後の対応	1986年7月	10～11
92	企画関係	1987年2月	11～12
93	ありがとう そして さようなら湧網線	1987年4月	22～23
94	湧網線代替バス発車	1987年4月	24
95	旧国鉄湧網線の用地処分について	1987年12月	8

湧別町役場湧別町総合支所図書館所蔵『広報ゆうべつ』（一部に名寄本線関係を含む）

番号	記事名	掲載号	頁
1	国鉄乗車券は町内で買しましょう！（湧網線・名寄線の利用度を高めるためにご協力を）	1981年10月	10
2	国鉄乗車券は町内で買しましょう！（私たち地域住民の足を確保するため湧網線・名寄線の利用度を高めよう）	1982年2月	10
3	国鉄廃止は地域の発展を阻害する 守ろう 乗ろう ローカル線 沿線10市町村住民 初の総決起集会	1983年6月	4
4	国鉄湧網線 列車に揺られて沿線住民が総決起集会	1983年7月	10～11
5	国鉄湧網線は3月19日で廃止 代替バスは3月20日から運行	1987年3月	6
6	表紙	1987年4月	表紙
7	永い間ご苦労さま 国鉄湧網線 52年の歴史を残して	1987年4月	8～9

内容摘記	備考
湧網線特定地方交通線対策協議会が10月16日に開催予定。バス転換・第三セクター転換等の検討予定。	
分割民営化は容認できないので，新たな運動を求める石村議員に対して，それは難しく第三セクターか代替バスかの選択を早急に行うべきとの町長の答弁。	
地元負担の観点から第三セクターではなく，バス転換を選択したことについての報告。	
バス転換決定の報告。	
利用促進の呼び掛け。	
バス転換決定の報告，転換交付金の利用内容。	
代替バス運行の内容を巡る為広議員と町長との間での質疑応答。	
バス転換決定についての記載。	
お別れ式の様子と当日の写真。	
代替バス発車式の様子と当日の写真。	
跡地利用を巡る室井議員と企画調査室長との質疑応答。	

内容摘記	備考
利用促進呼び掛け。	
利用促進呼び掛け。	
5月13日実施の名寄本線廃止反対の総決起集会の概況。決議文掲載。	
6月16日実施の湧網線列車に乗車した上での廃線反対運動の概況。	
湧網線廃止，代替バス運行開始の告知。	
湧網線さよなら列車の「お別れ式」の写真。	
計呂地駅での「お別れ式」の概況と代替バス発車式の概況。湧網線列車，代替バスの写真。	

第5章 旧国鉄湧網線沿線自治体所蔵行政文書（湧別町役場所蔵分は除く）

網走市役所所蔵旧国鉄湧網線廃線・バス転換関係

番号	簿冊名	自（年月日）	至（年月日）
3843	昭和43年度国鉄路線関係	1968年9月14日	1969年1月17日
3845	昭和43～47年度国鉄湧網線関係	1969年9月8日	1972年8月30日
3848	昭和56年度湧網線関係	1981年3月？日	1982年3月18日
3849	昭和57年度湧網線関係	1982年7月23日	1983年3月7日
3850	昭和58年度湧網線関係	1983年4月7日	1984年3月22日
3851	昭和52～58年度 国鉄合理化関係	1977年8月19日	1983年8月17日
3852	昭和56～59年度 国鉄用地関係	1980年5月1日	1984年12月5日
3853	昭和59年度 国鉄湧網線関係 2冊の内1	1980年5月？日	1984年5月31日
3854	昭和59年度 国鉄湧網線関係 2冊の内2	1984年5月24日	1984年6月16日
3855	昭和59年度 湧網線廃止関係	1984年6月21日	1986年5月23日
3856	昭和60年度 湧網線関係（特定地方交通線対策協議会） 2冊の内1	1985年1月16日	1985年6月23日
3857	昭和60年度 湧網線関係（特定地方交通線対策協議会） 2冊の内2	1985年7月10日	1987年3月25日
3860	昭和62～63年度 湧網線用地・工作物処理関係	1987年2月27日	1989年4月27日
3861	昭和62～平成4年度 湧網線関係（記念館込）	1987年4月6日	1992年10月20日
3862	平成2～6年度 湧網線交通対策協議会代替バス等関係	1990年11月30日	1995年3月14日

注) 網走市の資料番号は、同市側で付けたものである。

簿冊作成者	内容摘記	備考
商工労働課 商工係	湧網線廃止反対運動関係，廃止運動経費負担関係，陳情。	
商工労働課 商工係	湧網線認定除外対策負担金，合理化反対期成会打ち合わせ結果，合理化反対運動，合理化計画対策資料，卯原内駅合理化反対運動資料。	
商工労働課 商工係	湧網線確保対策会議関係，「北海道国鉄特定地方交通線関係市町村長会議」結成関係，合理化問題，対策協議会負担金，貨物集約化問題，地方交通線の利用拡大など実施に関する調査。	一番最初の文書「陳情書」は日付不明。
商工労働課 商工係	対策協議会負担金，特定地方交通線第二次申請に対する意見及び対応策について，地方交通線問題関係懇談会関係，地方交通線廃止反対関係の自民党北海道代議士会議。	
商工労働課 商工係	存続陳情，廃止反対運動関係，住民総決起集会，地方交通線懇談会，地方交通線の中央要請関係，国鉄第二次線情報。	
商工労働課 商工係	湧網線貨物合理化関係，駅停留所化関係，釧網線貨物集約化関係，ダイヤ改正に関する要求書回答聴取。	
商工労働課 商工係	国鉄用地払下げと売却関係。	
商工労働課 商工係	対策協議会負担関係，対策協議会関係，国鉄ローカル線に対する要請書送付。	
商工労働課 商工係	特定地方交通線基準適合調査，湧網線関係運輸省ヒアリング，議員連盟との会議関係，5月10日，11日の中央陳情発言要旨送付，特定地方交通線の選定関係，国鉄地方交通線確保対策全道会議関係。	
商工労働課 商工係	湧網線廃止反対運動関係，特定地方交通線選定関係，対策協議会負担金関係，沿線市町村長打ち合わせ会関係，国鉄分割民営化反対関係。	
商工労働課 商工係	網走市議会産業常任委員協議会関係，同協議会提出資料，対策協議会関係，厳冬期調査案内，湧網線確保対策協議会関係。	
商工労働課 商工係	第1～5回湧網線特定地方交通線対策協議会関係，厳冬期調査への意見，対策協議会会議終結。	
商工労働課 商工係	湧網線廃止後の跡地利用関係。	
商工労働課 商工係	湧網線廃止後の跡地利用関係，転換バス運営関係，通学定期補助金支給関係。	
商工労働課 商工係	代替バス通学利用調査，代替バス運営関係。	

北見市常呂総合支所所蔵旧国鉄湧網線廃線・バス転換関係資料目録

番号	簿冊名	自（年月日）	至（年月日）
1	国鉄合理化路線に関する綴	1970年日付不明	
2	湧網線合理化に関する綴	1970年12月17日	1971年9月6日
3	国鉄経営再建法に係る地方交通線対策関係書類	1980年3月3日	1981年3月20日
4	湧網線対策（廃止）関係綴	1980年7月12日	1981年1月19日
5	国鉄湧網線確保対策に関する書類	1981年4月22日	1984年8月4日
6	国鉄特定地方交通線対策に関する書類	1981年5月1日	1981年11月2日
7	国鉄特定地方交通	1981年9月4日	1982年10月2日
8	国鉄オホーツク本線の建設に関する書類	1981年10月28日	1982年12月18日
9	国鉄特定地方交通線対策に関する書類	1982年3月19日	1982年12月22日
10	国鉄特定地方交通	1982年10月27日	1984年7月14日
11	国鉄湧網線確保対策に関する書類	1983年2月9日	1983年12月13日
12	国鉄特定地方交通線対策に関する書類	1983年3月11日	1983年12月14日
13	国鉄特定地方交通線対策に関する書類	1984年1月6日	1984年12月12日
14	国鉄湧網線に関する書類	1984年2月13日	1984年11月20日
15	地方特定路線一般関係綴（NO.2）	1985年1月17日	1986年8月7日
16	湧網線特定地方交通線対策協議会関係綴（NO.1）	1985年1月31日	1985年11月15日
17	国鉄関係（クリヤーブック）	1985年2月8日	1985年8月2日
18	国鉄に関する書類（代替輸送）	1985年11月16日	1986年9月16日
19	国鉄に関する書類（跡地利用）	1986年3月26日	1987年5月15日
20	国鉄湧網線特定地方交通線対策協議会関係綴	1986年9月15日	1987年4月22日
21	国鉄関係書類	1986年11月21日	1987年2月16日
22	国鉄雑件	1986年11月28日	1987年7月7日
23	国鉄用地に関する書類	1987年1月29日	1987年10月22日
24	国鉄管理物品（枕木・レール）売却に関する綴	1987年4月9日	1991年2月16日
25	サイクリングロードに関する綴	1987年5月26日	1989年1月12日
26	国鉄に関する書類（NO.9）	1987年7月6日	1989年5月24日
27	湧網線現地調査写真	1987年8月27日	
28	旧国鉄用地利用区分関係書類	1987年9月1日	
29	旧国鉄用地購入に関する綴	1987年9月19日	1988年1月29日
30	旧国鉄用地利用区分関係書類	1987年10月30日	
31	湧網線交通対策協議会事務担当者会議	1988年3月4日	1994年3月2日
32	旧湧網線転換関連事業交付金関係	1988年12月1日	1987年6月1日
33	国鉄湧網線処分等に関する綴	1989年7月21日	1994年3月15日
34	鉄道用地 常呂川～港線	1990年10月15日	1990年11月19日
35	旧湧網線現況平面図作成委託	1990年10月19日	1990年12月5日

旧国鉄（JR）名寄本線，旧国鉄湧網線沿線自治体所蔵廃線・バス転換関係資料目録

簿冊作成者	内容摘記	備考
不明	常呂駅運輸状況，ローカル線調査概要。	
企画室	合理化反対運動。	
企画課	合理化反対運動。	
企画課	合理化反対運動。	
企画室	利用増強対策，貨物廃止。	
企画室	経営改善計画，合理化反対運動。	
？	新聞切り抜き。	
企画室	オホーツク本線建設の促進。	
企画室	廃止反対。	
不明	新聞切り抜き。	
企画室	廃止反対，利用増強対策。	
企画室	廃止反対。	
企画室	廃止反対。	
企画室	廃止反対，実態調査。	
企画室	代替輸送，交付金。	
企画室	代替輸送，交付金，事前調査。	
不明	新聞切り抜き。	
企画室	転換に向けた事前協議，現況調査，代替バス運行協議。	
企画室	跡地利用計画，跡地処分。	
企画室	まとめ，計画。	
企画室	広報，転換バス運行，お別れ式。	
企画室	物品売払，イベント。	
振興課	物品譲渡，土地建物使用。	
振興課	物品売払い。	
企画室	サイクリングロード整備。	
振興課	鉄道用地処分。	
管財係	図面。	
振興課	鉄道用地処分計画，図面。	
企画室	旧国鉄用地処分関係。	
振興課	鉄道用地処分計画，図面。	
振興課	代替バス運行。	
振興課	跡地利用。	
管財係	鉄道用地履行調査，測量，無償譲渡，払い下げ。	
管財係	鉄道用地処分図面，価格設定，意向。	
建設課	契約。	

番号	簿冊名	自（年月日）	至（年月日）
36	旧国鉄用地現地調査 浜佐呂間～西4線	1992年8月7日	
37	国鉄跡地境界測量業務委託	1989年	
38	旧湧網線現況平面図作成委託業務計算簿	1990年	
39	旧湧網線用地分筆測量成果計算簿	1991年	

注) 常呂総合支所所蔵の行政文書は近く北見市常呂図書館に移管予定である。

**佐呂間町役場所蔵旧国鉄湧網線廃線・バス転換関係資料目録**

番号	簿冊名	自（年月日）	至（年月日）
1	湧網線関係町外組織（Ⅰ）	1968年11月1日	1971年11月15日
2	湧網線関係町外組織（Ⅱ）	1972年2月8日	1983年9月24日
3	湧網線関係町外組織（Ⅲ）	1984年4月3日	1985年11月27日
4	湧網線関係町内組織	1980年6月12日	1986年12月19日
5	湧網線転換関係（Ⅰ）	1983年1月31日	1986年3月29日
6	湧網線転換関係（Ⅱ）	1986年4月4日	1987年6月2日
7	昭和62年度湧網線転換促進関連事業交付金交付申請書	1986年6月1日	1986年12月7日
8	昭和63年度湧網線転換促進関連事業交付金交付申請書	1987年6月1日	1988年10月22日
9	湧網線関係	1989年5月30日	1988年1月11日
10	湧網線に関する書類	1988年5月2日	1990年11月30日
11	湧網線転換交付金関連事業工事関係書類	1987年6月5日	1987年10月23日
12	湧網線転換促進関連事業関係書類 No.1	1987年4月?日	1987年日付不明
13	湧網線代替バス運行に関する書類	1987年4月6日	1990年2月15日
14	平成2年度 湧網対策協議会	1990年12月7日	1992年11月19日
15	湧網線	1990年11月30日	1993年3月30日



旧国鉄（JR）名寄本線，旧国鉄湧網線沿線自治体所蔵廃線・バス転換関係資料目録

簿冊作成者	内容摘記	備考
管財係	現況図面，写真。	
不明	測量計算簿。	
不明	測量計算簿，図面。	
不明	計算簿，図面。	

簿冊作成者	内容摘記	備考
企画係	反対運動関係。	
企画係	ダイヤ改正への要望，反対運動関係。	
企画係	反対運動関係。	
企画係	湧網線合理化関係，反対運動関係。	
企画係	湧網線廃止反対協議会，運輸省ヒアリング，厳冬期調査，反対運動関係，代替輸送道路計画。	
企画係	代替バス輸送関係，跡地利用計画図。	
企画係	転換促進関連事業計画書，交付申請書関係。	
企画係	代替バス促進転換関係，跡地利用（交通公園）工事関係。	
企画係	廃止後の跡地利用関係。	
企画係	転換バス関係，運行基金関係，交付金関係，佐呂間駅の交通公園化関係。	
企画係	バスターミナルなどの建設関係，バス購入関係，道路改良舗装関係。	資料の綴じられ方は時系列的ではない
企画係	87年度転換促進関連事業計画申請書関係，転換交付金配分関係，通学費用補助関係，バス利用状況，代替輸送確保基金計画。	
企画係	代替バス運行関係。	
企画係	代替バス運行関係。	
企画係	代替バス運行関係。	

## 第6章 湧別町役場所蔵旧国鉄名寄本線・湧網線廃線・バス転換関係文書

### 湧別町役場所蔵旧国鉄名寄本線・湧網線廃線・バス転換関係資料（旧上湧別町役場所蔵分）

番号	簿冊名	自（年月日）	至（年月日）
1	平成元年度起 名寄本線特定地方交通線対策協議会に関する書類	1989年3月23日	1989年7月11日
2	湧網線交通対策協議会に関する書類	1991年3月4日	1993年2月19日
3	名寄本線特定地方交通線に関する書類 No.1	1986年9月3日	1988年3月4日
4	名寄本線特定地方交通線に関する書類 No.2	1988年4月1日	1988年7月12日
5	名寄本線特定地方交通線に関する書類 No.3	1988年10月6日	1988年12月29日
6	名寄本線特定地方交通線に関する書類 No.4	1989年1月17日	1990年3月18日

### 湧別町役場所蔵名寄本線・湧網線廃線・バス転換関係資料（旧湧別町役場所蔵分）

番号	簿冊名	自（年月日）	至（年月日）
1	昭和53年度 国鉄名寄線湧別駅合理化阻止期成会国鉄名寄本線外施設整備促進期成会綴	1977年9月2日	1978年11月27日
2	昭和55年度 国鉄地方交通線関係綴	1980年4月1日	1981年3月23日
3	昭和56年度 国鉄関係綴（地方交通線等）	1981年5月27日	1982年3月31日

簿冊作成者	内容摘記	備考
上湧別町	旧名寄本線跡地利用関係。	B4版横長，黒表紙で綴じ込み。
上湧別町	旧湧網線代替バス関係資料（自治体負担，運行時刻表など）。	B4版横長。白表紙で綴じ込み。
上湧別町	長大四線合同での対応も含む名寄線廃線反対関係（国鉄名寄本線外地方交通線対策協議会主管課長会議関係書類など），国鉄ダイヤ改正・経営状況に関する資料，バス代替の場合の経営収支試算，長大四路線経営収支試算，転換交付金関係資料，第三セクター時の経営収支試算，『国鉄名寄本線を乗りやすくする要望書』，国鉄問題の経過。	B4版横長，黒表紙で綴じ込み。
上湧別町	広尾，士幌，富内各線の調査，転換交付金関係，バス代替時の経営収支試算・初期投資・運営基金，名寄線駅別構内図，第三セクター時の経営収支試算（全線，遠軽～紋別），議会での知事答弁，長大4線に関する質疑，バス転換時の初期投資，名寄線対策協議会市町村長会議（1988年8月23日），名寄線特定地方交通線対策協議会第2回幹事会（書き込み有り），名寄線対策協議会主管課長会議関係。	B4版横長，黒表紙で綴じ込み。この時点でもバス転換を決めかねている模様。
上湧別町	バス転換時の収支試算，第三セクター時の経営収支試算，名寄線対策協議会市町村長会議議事録（1988年10月15日，11月1日），バス転換時の問題点，鉄道存続の理由と問題点，バス転換に伴う要望事項，転換交付金の使用方法，紋別市長によるバス転換表明，バス転換準備関係，名寄線特定地方交通線対策協議会議事録（第3回）。	B4版横長，黒表紙で綴じ込み。
上湧別町	バス転換関係（経営収支，ルート等），跡地利用関係，名寄線特定地方交通線対策協議会会議録（第4・5回），バス転換に伴う要望事項，定期券補助関係，第5回名寄線特定地方交通線対策協議会紋別市長発言要旨（案），跡地利用計画，第6回協議会発言要旨。	B4版横長，黒表紙で綴じ込み。

簿冊作成者	内容摘記	備考
総務課	国鉄名寄本線湧別駅の合理化反対関係。	
総務課	地方交通線（名寄本線）確保運動関係。	
総務課	湧網線廃止反対関係，オホーツク本線建設促進関係，国鉄特定地方交通線関係市町村会議関係，地方交通線選別に関する知事意見。	

番号	簿冊名	自 (年月日)	至 (年月日)
4	昭和57年度 国鉄 (名寄線・湧網線)	1980年7月31日	1983年4月20日
5	昭和58年度 国鉄1/3	1983年4月9日	1983年7月22日
6	昭和58年度 国鉄2/3	1983年8月1日	1983年10月30日
7	昭和58年度 国鉄3/3	1983年11月22日	1984年3月27日
8	昭和59年度 国鉄 (存続関係) 1/6 59年4月～5月分	1984年3月27日	1984年5月29日
9	昭和59年度 国鉄 (存続関係) 2/6 59年5月分	1984年5月23日	1984年5月31日
10	昭和59年度 国鉄 (存続関係) 3/6 1984年6月～7月分	1984年6月2日	1984年7月31日
11	昭和59年度 国鉄 (存続関係) 4/6 59年8月～9月分	1984年8月2日	1984年10月3日
12	昭和59年度 国鉄 (存続関係) 5/6	1984年10月5日	1985年1月28日
13	昭和59年度 国鉄 (存続関係) 6/6	1985年2月6日	1985年3月7日
14	昭和60年度 国鉄 (存続関係) 1/3 60年4月～7月分	1985年3月4日	1985年7月25日
15	昭和60年度 国鉄 (存続関係) 2/3 60年8月分	1985年8月1日	1985年8月28日
16	昭和60年度 国鉄 (存続関係) 3/3 60年9月～11月分	1985年9月3日	1985年11月12日
17	昭和59年度 国鉄湧網線関係 (協議会) 湧別町	1985年1月8日	1985年2月25日
18	国鉄湧網線関係 湧網線60年度分 湧別町	1985年7月10日	1986年3月27日
19	昭和63年度 湧網線関係	1988年4月9日	1988年12月7日

簿冊作成者	内容摘記	備考
総務課	名寄・湧網両線廃線反対運動関係，オホーツク本線建設促進関係，特定地方交通線廃止関係自民党北海道代議士会の決議。	
総務課	池北・名寄・湧網各線廃線反対関係，興浜南北両線第三セクター化関係，北海道知事他への陳情関係。	
総務課	オホーツク本線建設促進関係，名寄・湧網両線廃線反対関係，特定地方交通線絶対確保対策市町村会議関係，国鉄分割民営化反対関係，北海道総局の業務概要。	
総務課	特定地方交通線関係資料，同懇談会・市町村長会議関係，国鉄ダイヤ改正反対，特定地方交通線廃止反対関係，国鉄第2線（第2次特定地方交通線のことか？）関係。	
総務課	名寄本線，湧網線廃線反対関係，名寄本線絶対確保中央陳情に伴う顛末。	
総務課	知事意見書の送付，陳情関係，名寄線反対運動関係。	
総務課	湧網線・名寄本線廃線関係（線区別ヒアリング，議員連盟との合同会議関係を含む）。	
総務課	名寄本線・湧網線廃止反対関係，オホーツク本線建設促進関係，国鉄分割民営化反対関係。	
総務課	湧網線廃線反対関係，同線利用向上関係，美幸線・興浜南北線廃止の場合の輸送確保のあり方について，オホーツク本線建設促進関係，名寄本線外地方交通線対策協議会関係。	
総務課	オホーツク本線建設促進関係，名寄本線厳冬期調査資料，国鉄名寄本線外地方交通線対策会議。	
総務課	湧網線厳冬期調査関係，名寄本線廃線反対運動関係，オホーツク本線建設促進関係，国鉄分割民営化関係資料，中央陳情関係。	
総務課	国鉄改革関係，名寄本線外地方交通線対策協議会市町村長会議関係，保留4線の廃線承認関係，経営改善計画。	
総務課	議員連盟・道議との話し合い，国鉄分割民営化関係，名寄本線存続関係，国鉄再建問題に関するアンケート調査書の提出，国鉄分割民営化問題に対する勉強会・質疑応答。	
湧別町	湧網線確保対策会議関係資料（地図，写真，厳冬期調査資料などあり）。	
湧別町	湧網線確保対策協議会担当者会議関係（議事録有り），湧網線代替バス輸送計画策定グループ第1回会議。	
湧別町	旧国鉄湧網線跡地利用関係，代替バス運行関係。	

番号	簿冊名	自（年月日）	至（年月日）
20	昭和63年度 名寄線対策協議会に関する書類	1988年9月19日	1989年3月1日
21	平成元年度 湧網線に関する書類	1989年2月4日	1990年1月27日
22	国鉄湧網線関係 総務部長	1983年6月日付 不明	1986年5月9日
23	平成二年度起 湧網線交通対策協議会に関する書類	1990年11月30日	1994年3月17日
24	湧網線61年度分	1985年4月4日	1987年4月22日
25	名寄線 No.5	1989年1月11日	1989年5月1日
26	平成元年度・平成2年度・平成3年度 名寄線に関する書類	1990年6月9日	1991年4月1日
27	名寄本線60年度 61年度 No.1	1985年12月5日	1987年4月7日
28	名寄線 62. 5.20 62.12.11～12 No.2 No.2	1987年5月20日	1987年12月12日
29	名寄線 63.11.8 No.3 No.3	1988年1月11日	1988年10月4日
30	名寄線 No.4	1988年9月21日	
31	平成元年度 名寄線代替バス運営協議会	1989年5月1日	1990年4月6日

簿冊作成者	内容摘記	備考
湧別町	名寄線廃止反対運動関係，道庁作成長大四線に関する試算（第三セクターの場合），名寄線対策協議会解散通知，名寄線特定地方交通線対策協議会関係（含議事録），代替バス運行関係。	
湧別町	旧国鉄湧網線跡地利用関係。	
総務部長	バス転換後の旧国鉄用地利用関係。	
湧別町	湧網線代替バス運行関係。	
湧別町	さよなら列車運行関係，湧網線代替バス運行関係，跡地利用関係。	B4版横長。黒表紙で綴じ込み。
湧別町	代替バス運行関係。	B4版横長。黒表紙で綴じ込み。
湧別町	旧名寄本線跡地利用関係。	B4版横長。黒表紙で綴じ込み。
湧別町	国鉄名寄本線他地方交通線対策協議会委員会会議録など関係書類，湧網線廃止後の跡地・施設利用関係，枝幸町・紋別市（渚滑線）の跡地利用関係資料，湧別町担当者による湧網線代替輸送検討に関するまとめ。	
湧別町	昭和62年度名寄線経営収支試算，バス転換時の試算，名寄線廃線反対関係（5月20日分），長大四線存続陳情（札幌，東京）関係（議員からの回答，政務次官とのやり取りあり）。	B4版横長。黒表紙で綴じ込み。
湧別町	第三セクター化・バス転換の場合の経営試算資料，長大四線の廃止反対運動の足並みが揃わず，共同での対応を断念する記述あり（1988年1月18日）。	B4版横長。黒表紙で綴じ込み。
湧別町	名寄本線第三セクター化時の道庁収支試算，（沿線）四首長会議など第三セクター化関係，バス転換関係。	B4版横長。黒表紙で綴じ込み。主に財政負担問題を中心に沿線自治体の考えの相違が顕在化している資料は興味深い
企画財政課	代替バス運行関係，線路撤去関係，跡地取得関係。	B4版横長。黒表紙で綴じ込み。